

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

—道明地区土地地区画整理事業関連遺跡平成 29 年度発掘調査—

細谷地遺跡

2020. 2

盛岡市・盛岡市教育委員会



# 序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その都市骨格は、約400年前に戦国大名南部氏により築城された総石垣の盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして明治以降は岩手の県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

平成になると、平成4年に南の都南村と、平成18年に北の玉山村と合併。人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市へと成長し、平成20年4月には中核市へ移行しました。平成23年に未曾有の大被害を受けた東日本大震災後、着実に復興を果たし、平成28年には「希望郷いわて国体・いわて大会」が県内各地を会場に開催され、盛岡市では冬季のスケート・アイスホッケー、本大会の水泳・サッカー・テニスのほか多くの種目の選手・役員の方々をお迎えしたところがあります。

昭和の時代から盛岡市が都市として成長する中、将来の発展を見据え、既存の中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる一帯に新市街地を形成しようと計画されたのが「盛南開発構想」です。その大部分は、独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）が事業主体となり「盛岡南新都市（愛称：ゆいとびあ盛南）」が整備され、平成25年度に事業完了しています。道明地区は、その盛岡南新都市の南東部に隣接しており、都市基盤づくりのひとつである「盛岡南地区都市開発整備事業」の一環として、施行面積21.7ヘクタールの土地区画整理事業が現在進められています。

この事業に伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地のうち、整備工事により消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成20年度から当市教育委員会が行い、現在も調査が継続しております。

本報告書は、平成29年度に実施した細谷地遺跡の調査成果について報告するものです。市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るための資料としてご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました岩手県教育委員会生涯学習文化財課、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和2年2月

盛岡市教育委員会

教育長 千葉 仁一

# 例 言

- 1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・飯岡新田ほかに所在する盛南地区遺跡群において、「道明地区土地区画整理事業」及び関係事業に伴い平成 29 年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、盛南開発地区内に所在する計 18 遺跡（大宮北、小幅、宮沢、鬼柳 A、本宮熊堂 A、本宮熊堂 B、稲荷、野古 A、飯岡沢田、飯岡才川、台太郎、向中野館、細谷地、矢盛、焼野、夕覚、南仙北、向中野幅）を包括する総称として使用し、本書ではそのうち細谷地遺跡の調査成果を報告する。
- 2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市遺跡の学び館が行い、編集・執筆作業を津嶋知弘が担当した。
- 3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標 X 系を座標変換した調査座標で表示した。
  - ・調査座標軸は、日本測地系第 X 系に準じる
  - ・調査座標原点 細谷地遺跡 X -35,000 Y +26,000 → RX ±0 RY ±0
- 4 高さは、標高値をそのまま使用した。
- 5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。  
層名の記号は次のとおりとした。

記 号	
遺構内堆積土	A～I 層
カマド崩壊土	J 層
カマド構築土	K 層
床構築土	L 層
地形堆積土（遺物包含層含む）	I～V（ローマ数字）層

- 6 遺構記号は次のとおりとした。

記 号			
竪穴建物跡	R A	溝跡・堀跡	R G
掘立柱建物跡	R B	配石・集石遺構	R H
掘立柱柱列跡	R C	井戸跡	R I
土坑	R D	土器埋設	R P
竪穴状遺構	R E	古墳・円形周溝ほか	R X
焼土遺構	R F	土坑墓ほか	R Z

- 7 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線	
推定	破線	
時期差	一点鎖点	

- 8 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心（焚口）から煙道先端（煙出し）を結んだ線の方向の傾きとした。
- 9 古代の土器区分は、土師器・須恵器・あかやき土器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土

- 器（坏類、甕類、鉢）に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 10 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存 1/4 以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存 1/4 以上かつ体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。
  - 11 出土遺物の実測図化・トレースは、(株) タックエンジニアリングに委託した。
  - 12 出土遺物の写真撮影は、津嶋知弘が行った。
  - 13 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。
  - 14 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

### 細谷地遺跡に係る発掘調査報告書

#### 〈公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）〉

- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成13年度）』第397集〔台太郎遺跡36次、細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書－第4・5次調査－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集
- 2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査－』第454集
- 2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成15年度）』第455集〔稲荷遺跡6次、本宮熊堂B遺跡19次、台太郎50次・52次、野古A遺跡19次・20次、飯岡才川遺跡5次・6次、細谷地遺跡7次〕
- 2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査－』第500集
- 2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書－一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査－』第508集
- 2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査－』第513集
- 2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査－』第514集
- 2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次、矢盛遺跡14次〕
- 2009年2月『細谷地遺跡第16・17次発掘調査報告書－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査－』第535集
- 2010年2月『細谷地遺跡第19・20次発掘調査報告書－盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査－』第556集
- 2011年3月『細谷地遺跡第24・25次・向中野館遺跡第12・13次発掘調査報告書－盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査－』第577集
- 2012年3月『細谷地遺跡第26次発掘調査報告書－盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査－』第595集

#### 〈盛岡市教育委員会〉

- 2009年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ－盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②－稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡－』〔稲荷遺跡1・1次補足、本宮熊堂A遺跡2・2次補足、本宮熊堂B遺跡3・3次補足・8・11次、飯岡沢田遺跡1・2次、飯岡才川遺跡1次、向中野館遺跡1・2次、細谷地遺跡2次、矢盛遺跡2次、南仙北遺跡15～17・22～24・27・28・30～32・35次〕
- 2014年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅵ－盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査③－飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡－』〔飯岡沢田遺跡4・6～8・11次、飯岡才川遺跡10・11次、細谷地遺跡11次、矢盛遺跡7・8次、南仙北遺跡37～39次〕
- 2015年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅶ－盛岡南新都市開発整備事業平成19～21年度発掘調査－大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・本宮熊堂B遺跡・台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・夕覚遺跡－』〔大宮北遺跡11～14・15次、小幡遺跡23次、宮沢遺跡13次、本宮熊堂B遺跡32・33次、台太郎遺跡59～65・67～70次、飯岡沢田遺跡12次、飯岡才川遺跡14次、細谷地遺跡21～23次、矢盛遺跡15～17・21・22次、夕覚遺跡1～6次〕

- 2017年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅸ－盛岡南新都市開発整備事業平成22～24年度発掘調査②－細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡－』〔細谷地28・31次，矢盛28・30・31次，焼野3次〕
- 2018年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅹ－道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成20～26年度発掘調査－細谷地遺跡・夕覚遺跡－』〔細谷地29・30・32～34次，夕覚3・5・8・9・11次〕
- 2019年2月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ－道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成27・28年度発掘調査－細谷地遺跡－』〔細谷地35・36次〕

# 目次

## 第1章 経過

第1節 事業の経過	1
第2節 発掘調査の経過	2
第3節 体制	3

## 第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	7
第2節 歴史的環境	7

## 第3章 調査成果

第1節 細谷地遺跡の立地と概要	9
第2節 調査内容	
(1) 第37次調査（平成29年度）	9

## 第4章 総括

1 調査のまとめ	14
----------	----

## 写真図版

## 報告書抄録

# 表 目 次

挿表1	盛南地区遺跡群調査一覧表〔道明地区, 平成29年度〕	3
第1表	細谷地遺跡第37次調査遺構土層観察表(1)	15
第2表	細谷地遺跡第37次調査遺構土層観察表(2)	16
第3表	細谷地遺跡第37次調査ピット計測表	17
第4表	細谷地遺跡第37次調査出土近世陶磁器観察表	17
第5表	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(1)	18
第6表	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(2)	19
第7表	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(3)	20
第8表	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(4)	21
第9表	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(5)	22

# 図 目 次

挿図1	遺跡位置図	4
挿図2	道明地区土地区画整理事業全体図	5
第1図	細谷地遺跡南東部(道明地区)全体図	23
第2図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区全体図	24
第3図	細谷地遺跡第37次調査Ⅱ区全体図	25
第4図	細谷地遺跡第37次調査Ⅲ区全体図	26
第5図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区RD607～611陥し穴	27
第6図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区RD612・613陥し穴, RD614・615土坑	28
第7図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区RG108・109溝跡	29
第8図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区RG107・110～112溝跡	30
第9図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区ピット(1)	31
第10図	細谷地遺跡第37次調査Ⅰ区ピット(2)	32
第11図	細谷地遺跡第37次調査Ⅱ区RD616陥し穴, RG113溝跡, ピット	33
第12図	細谷地遺跡第37次調査出土近世陶磁器	34

# 写真図版目次

第1図版	盛南開発地区航空写真	37
第2図版	細谷地遺跡第37次調査(1) 第37次調査Ⅰ・Ⅱ区全景(南西から)	38
第3図版	細谷地遺跡第37次調査(2) 第37次調査Ⅰ区全景(南東から), 第37次調査Ⅰ区全景(北東から)	39
第4図版	細谷地遺跡第37次調査(3) 第37次調査Ⅱ区全景(北から), 第37次調査Ⅱ区全景(西から)	40
第5図版	細谷地遺跡第37次調査(4) 第37次調査Ⅲ区全景(南東から), 第37次調査Ⅲ区全景(北西から)	41
第6図版	細谷地遺跡第37次調査(5) RD607 陥し穴・土層断面, RD608 陥し穴・土層断面, RD609 陥し穴・土層断面, RD610 陥し穴・土層断面, RD611 陥し穴・土層断面, RD612 陥し穴・土層断面	42
第7図版	細谷地遺跡第37次調査(6) RD613 陥し穴・土層断面, RD616 陥し穴・土層断面, RD614 土坑・土層断面, RD615 土坑・土層断面	43
第8図版	細谷地遺跡第37次調査(7) RG107 溝跡(南西から), RG108 溝跡(東から), RG109 溝跡(北東から), RG110 溝跡(南東から)	44
第9図版	細谷地遺跡第37次調査(8) RG111 溝跡(東から), RG112 溝跡(東から), RG113 溝跡(南西から), RG113 土層断面, RG113 灰白色テフラ検出状況, 近現代廃棄土坑(RD901・902・905), 調査風景	45
第10図版	細谷地遺跡第37次調査出土近世陶磁器	46
第11図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(1)	47
第12図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(2)	48
第13図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(3)	49
第14図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(4)	50
第15図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(5)	51
第16図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(6)	52
第17図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(7)	53
第18図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(8)	54
第19図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(9)	55
第20図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(10)	56
第21図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(11)	57
第22図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(12)	58
第23図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(13)	59
第24図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(14)	60
第25図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(15)	61
第26図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(16)	62
第27図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(17)	63
第28図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(18)	64
第29図版	細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶(19)	65

第 30 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶(20)	66
第 31 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(1)	67
第 32 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(2)	68
第 33 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(3)	69
第 34 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(4)	70
第 35 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(5)	71
第 36 図版	細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器(6)	72

# 第1章 経過

## 第1節 事業の経過

### (1) 盛南開発

**構想具体化の始まり** 東北縦貫自動車道、東北新幹線といった国家プロジェクトが北東北にも進展した昭和40年代、当時広大な農地が広がっていた雫石川の南岸、東北本線仙北町駅の西側は、盛岡市の将来の都市発展方向と目されていた。昭和46年2月発表の「盛岡市市勢発展総合計画」第一次案において、雫石川を渡って太田・本宮地区を南北に縦貫する市内の中心軸線道路が「盛南新市街地を通る線」と表現され、また都市基盤の整備に「軸状都心の形成」を掲げて「盛南新市街地の中心部」が南の拠点とされた。盛南開発構想が具体化した始まりである。総合計画は昭和47年4月に正式決定され、盛南開発予定区域は面積850haでスタートした。

**協議会と地域公団** 盛南開発の予備調査は、昭和52・53年度に当時の地域振興整備公団（以下「地域公団」と呼ぶ）により行われた。しかし、盛南地区の北東に隣接する仙北西地区の土地区画整理事業と幹線道路の都市計画決定に対し住民が反発する事態となったことを受け、盛南開発では住民との対話によって計画づくりを行う手法に転換された。地元の意見を反映させる場として協議会が昭和55年1月に設立され、以後1年半にわたって盛南地区850haの開発手法が議論された。昭和56年9月、事業区域割がまとまり、盛南地区は①「都市開発区域」431ha、②「市街化区域」74ha、③「中央公園」28ha、④「ほ場整備区域」317haの4区分されることとなった。道明地区は「都市開発区域」に含まれ、新市街地エリアとされていた。その後、「都市開発区域」について新たな協議会が発足、地域公団が事業主体となって着手される方針が固まった。

**事業採択までの経緯** 地域公団は、昭和58・59年度に「盛南地区基本計画調査」を行い、区域面積約450ha・総事業費480億円の基本計画案を策定。大蔵省との折衝に進んだが、事業規模の見直しが要求されたため、地域公団は規模縮小により新規採択に持ち込もうとし、盛岡市・旧都南村との意見対立が膠着した。しかし、新規事業採択をめぐる他都市との競合や、「軸状都心」の要となる盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）開発との同調の必要性などから譲歩せざるをえない状況となり、昭和62年8月、盛南地区の「都市開発区域」450haについては、320haを地域公団が地方都市開発整備事業により、残る130haについては盛岡市と旧都南村が土地区画整理事業等により独自に整備することで決着。「盛岡南地区都市開発整備事業」（面積320ha、事業費650億円）が昭和63年度新規採択事業となった。しかし、これにより「都市開発区域」の南東隅に位置していた道明地区は、地域公団の事業区域外となることが決定した。

### (2) 盛岡南新都市開発整備事業（盛岡南新都市土地区画整理事業）

**事業認可** 地域公団の事業採択を受け、岩手県・盛岡市・旧都南村による地域公団への事業申請が平成2年9月に行われた。地域公団による「事業実施基本計画」策定は、「盛岡南新都市整備計画委員会」において協議が進められ、平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から認可された。

**事業経過** 「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の交流拠点都市の実現のため、現都心地区および盛岡駅西口地区に連担する職住近接の新しい市街地の形成を図るものとして現都心地区の南西部、雫石川の南に位置する約313.5haを整備するものとされた。そして平成6年5月、土地区画整理事業の施行が認可となり、

「盛岡南新都市土地区画整理事業」（面積 313.5 ha）は平成 7 年 11 月に着工。期間変更を経て約 19 年間にわたる長期の工事の中、平成 14 年には公募による「ゆいとびあ盛南」が愛称となり、また国の行政改革により平成 16 年より施行者が独立行政法人都市再生機構（以下「都市機構」と呼ぶ）に移行したものの、平成 25 年 10 月の換地処分公告で事業は完了した。

### （3）道明地区土地区画整理事業

**事業経過** 盛岡南新都市の事業区域から除外されることとなった道明地区であるが、街区や区画道路、都市計画道路などの基本計画は、盛岡南新都市と一体のものであった。道明地区は、都市基盤づくりのひとつである「盛岡南地区都市開発整備事業」の一環として盛岡市による土地区画整理事業が平成 16 年 2 月に認可され、当初施行面積 70.6 ha で開始された。「岩手山の眺望と豊かな水辺のあるまち」をテーマとして、都市計画道路をはじめとする公共施設などを整備することにより、良好な住環境の形成を図ることを目的としている。工事は盛岡南新都市に隣接する箇所から順次着工されていったが、社会情勢の急激な変化を受け、平成 24 年度から事業の抜本的な見直しが行われ、平成 28 年 3 月の事業計画変更により施行面積は 21.7 ha に縮小。除外区域は生活環境の改善と土地利用の促進を図るため、幹線道路の整備、主要生活道路の拡幅、河川改修及び上下水道整備を別事業として実施することとなった。宅地区域は民間開発事業に転換したが、平成 29 年度に道明地区中央部は（仮称）盛岡学校給食センター（新給食センター）が、道明地区東部の JR 東北本線沿いは産業等用地が盛岡市により整備されることが決定した。

### 【参考文献】

（独）都市再生機構 岩手・秋田都市開発事務所 2014 『盛南に夢馳せて－盛岡南新都市土地区画整理事業 事業誌－』

## 第 2 節 発掘調査の経過

**盛岡南新都市区域の遺跡と調査** 盛南地区の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）のうち、盛岡南新都市の区域内については計 18 遺跡（当初は 17 遺跡）が所在し、総面積が約 60 ha と広大であったことから、盛岡市教育委員会（以下「市教委」と呼ぶ）と（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が、平成 4 年度から試掘調査と本調査を担当した（平成 3 年 12 月 11 日付「覚書」「確認書」による）。基本的に、県埋文センターは盛岡市（宅地・区画道路分）と地域公団・都市機構（都市計画道路分）、国土交通省（国道 46 号線盛岡西バイパス）からの委託事業として本調査を実施。市教委は本調査範囲確定及び遺構密度確認のための試掘調査と、建物移転等により県埋文センターが対応できない箇所等の本調査を市教委予算事業（国土交通省交付金等）として、また一部の都市計画道路の本調査を地域公団・都市機構からの委託事業として実施した。

**道明地区の遺跡と調査** 一方、道明地区の当初事業計画では、盛岡南新都市の区域より続く細谷地遺跡・夕覚遺跡と、中央部に位置する向中野幅遺跡の計 3 遺跡が所在していたことから（挿図 1・2）、計画策定段階より市教委と都市整備部で協議を進め、発掘調査（報告書刊行含む）はすべて都市整備部予算事業（国土交通省交付金等）で行うこととされた。発掘調査は、盛岡南新都市と並行して平成 20 年度の夕覚遺跡から始まり、平成 23 年度からは細谷地遺跡の本調査を開始。夕覚遺跡の事業区域の野外調査は平成 24 年度で完了、

細谷地遺跡の野外調査は平成 30 年度で完了している。本書で報告の対象としている細谷地遺跡の平成 29 年度の調査成果の概要は、挿表 1 のとおりである。なお、計画変更により向中野幅遺跡範囲は土地区画整理事業区域より除外となったものの、(仮称)盛岡学校給食センター(新給食センター)建設事業及び産業等用地整備事業に伴い、各事業担当課予算で平成 29・30 年度に発掘調査が実施されている(別途報告書刊行)。

**道明地区の資料整理と報告書刊行** 土地区画整理事業関連の出土遺物や遺構図面等の資料整理は、野外調査開始当初より、埋蔵文化財センター機能を持つ「盛岡市遺跡の学び館」で計画的に進められた。発掘調査報告書の編集・刊行は、数年度をまとめて分冊として報告する方針としており、本書は道明地区土地区画整理事業関連の 3 分冊目(盛南地区遺跡群発掘調査報告書の 12 冊目)の報告書である。

挿表 1 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔道明地区，平成 29 年度〕

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
細谷地	OHY	37	H29	本調査	向中野字細谷地 21-1 外	4.692	2017.5.29~ 2017.8.31 2017.11.22~ 2017.12.20	縄文時代陥し穴 8、古代溝 1、古代以降土坑 2・溝跡 6、ピット、近現代廃棄土坑 12	土地区画整理(道明地区)	市教委	本書

### 第 3 節 体制

〔事業者〕 盛岡市(都市整備部盛岡南整備課)

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局歴史文化課

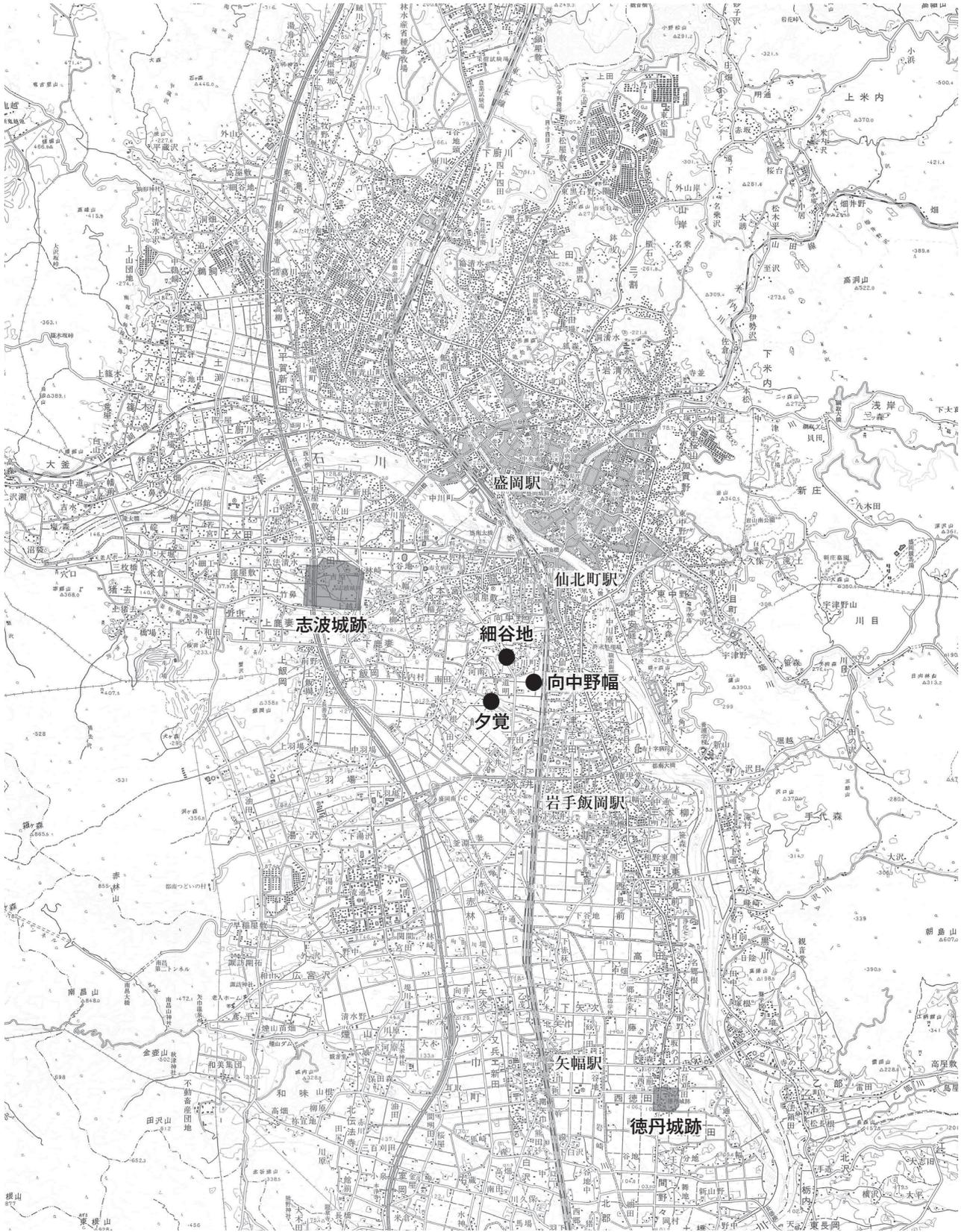
〔調査〕 盛岡市遺跡の学び館

〔助言〕 文化庁，岩手県教育委員会，公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査，資料整理，報告書編集にあたり，地権者・地元関係者の方々，そして多くの補助員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。

〔発掘調査担当者(本書掲載分)〕

細谷地遺跡 第 37 次調査(平成 29 年度) 花井正香・及川菜里



〔この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を縮小して使用したものである。〕

挿図1 遺跡位置図 (1 : 100,000)



挿図2 道明地区土地区画整理事業全体図 (変更後, 1:600)

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（令和元年度）

教育長 千葉 仁一

教育部長 豊岡 勝敏

教育次長 大澤 浩

歴史文化課（文化財・史跡担当）

〔事務局（都南庁舎）〕

歴史文化課（埋蔵文化財担当）

〔遺跡の学び館〕

課長	福田 淳	館長（兼）	福田 淳
課長補佐（文化財・史跡担当）	畠山 俊明	館長補佐（埋蔵文化財担当）	三浦 志麻
文化財主査	三浦 陽一	文化財副主幹	室野 秀文
文化財主査	神原雄一郎	文化財副主幹	菊地 幸裕
文化財主査	権頭 祐子	文化財主査	津嶋 知弘
学芸主査	吉田 智春	文化財主査	今野 公顕
主事	泉山 翔太	文化財主査	花井 正香
主事	石川あかね	文化財主査	佐々木亮二
学芸員	廣瀬 拓磨	主任（再）	菊池 好文
文化財調査員	戸澤 博子	文化財主事	鈴木 俊輝
文化財調査員	吉田 沙織	文化財調査員	今松 佑太
文化財調査員	菊池美奈子	文化財調査員	佐々木あゆみ
学芸調査員	菊池 早希	文化財調査員	金 俊教
事務嘱託	齊藤 晃大	学芸調査員	千葉 貴子

## 第2章 遺跡群の位置と環境

### 第1節 地理的環境

**位置と立地** 盛岡市は、岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口297,631人（平成27年国勢調査）、面積886.47 km<sup>2</sup>の県庁所在地である。平成20年4月には、中核市へ移行している。地理的には、北上盆地の北端、岩手県から宮城県にかけて南流する北上川に、中津川・雫石川・築川といった支流が入り込む合流点にある。「盛南地区遺跡群」は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。

**地形と遺跡分布** 雫石川は奥羽山脈から東流し、鳥泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘）が発達している。沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

**遺跡群と所在地** この微高地上に立地する盛南地区遺跡群は、「盛岡南新都市開発整備事業（盛岡南新都市土地区画整理事業）」区域（面積313.5 ha、平成25年事業完了）に所在した計17遺跡（大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡）と、南東に隣接する「道明地区土地区画整理事業」の当初区域（面積70.6 ha、平成15年事業開始、継続中）に所在する計3遺跡（うち2遺跡は盛岡南新都市から連続、細谷地遺跡・夕覚遺跡・向中野幅遺跡）の総称である（挿図1）。道明地区土地区画整理事業については、細谷地遺跡が盛岡市向中野字細谷地（盛岡南新都市では向中野5丁目・7丁目）、夕覚遺跡が盛岡市飯岡新田5地割（盛岡南新都市では北飯岡3丁目・4丁目）、向中野幅遺跡が盛岡市向中野字幅・畑返内に所在するが（挿図2）、この所在地名は事業完了後の住居表示整備により、今後変更になると見込まれる。

### 第2節 歴史的環境

**遺跡群の時代** 本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の古代集落で、一部に中近世の居館・集落・墓域などがみられる。

**先史** 縄文時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文晩期を中心とする竪穴建物や遺物包含

層が検出されている。また、詳細な時期は不明であるが、飯岡才川遺跡や細谷地遺跡、矢盛遺跡などでは縄文時代の陥し穴がまとまって確認されている。弥生時代の遺構遺物は、わずかに弥生前期頃の土器埋設遺構が台太郎遺跡にあるほか、弥生後期の土器片や北海道系の続縄文土器片が台太郎遺跡・細谷地遺跡で散発的に出土している。

**古代** 7世紀前葉以前の古墳文化の痕跡は不明であるが、7世紀中葉の遺構遺物は台太郎遺跡などで確認されており、これ以降、当該地域に集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴建物を主体とした集落が増加する。この時期の集落は、大型竪穴建物を中心としてその周囲に中～小型の竪穴建物が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向があり、血縁的一族が共同体集落を構成したと考えられる。この時期は、「蝦夷（エミシ）」と呼ばれていた人々の集団と北進する律令政府とが激しく争ったことが文献に見られる。やがて当該地周辺の志波エミシは律令政府側に付き、胆沢エミシのアテルイは征夷大將軍の坂上田村麻呂に降伏。平安時代初頭の延暦21年（802）には北上盆地南部に胆沢城が、翌延暦22年（803）には本遺跡群の西方に「志波城」（下太田方八丁ほか）が造営される。

志波城は、東北地方のエミシ統治のために都の律令政府が造営した「古代城柵」である。『日本紀略』によると、坂上田村麻呂が「造志波城使」となり志波城は造営され、その規模は陸奥国最大級のものであったことが発掘調査により明らかとなっている。しかし北を流れる現在の雫石川（当時としては北上川の本流的流れ）の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で文室綿麻呂の建議により徳丹城（矢巾町）に移転したことが、『日本後紀』に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止したようであり、本地域を含む北上盆地全体が、鎮守府となった胆沢城による一城統治の体制に移行したと考えられている。

律令政府の直接統治から在地エミシ系勢力を介した間接統治へと変化したであろう9世紀中葉から、本地域では竪穴建物を主体とした集落が増加していく。竪穴建物の規模の大小差は縮小するようになり、重複するものやカマドを作り替えるものが多く見られるようになる。また、向中野館遺跡で発見された低湿地の水辺祭祀遺物や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡の円形周溝墓（末期古墳）群など、本地域内に集落以外の機能のエリアが見られるようになる。また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、各地区に拠点集落が形成されるようになり、カマドを何度も作り替える大型竪穴建物が出現するようになる。飯岡才川遺跡では、微高地の南斜面に沿うように総柱の掘立柱建物が東西に並立し、高床倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、官衙的な大型掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、これらは新興在地有力者の拠点と考えられる。

**古代末～中世** 11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、平安時代末となる12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわけが、盛岡南新都市の西隣にある大宮遺跡の大溝から多量に出土している。鎌倉時代の13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形に堀を巡らす居館が営まれ、地域を支配した在地領主の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も確認されており、出土遺物から15世紀頃まで存続したようである。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡と掘立柱建物群が検出されており、出土遺物等から戦国時代の16世紀代を中心とする居館（環濠集落）と考えられている。

**近世** 江戸時代になると雫石川はほぼ現在の流路の位置となり、東の北上川沿いには、盛岡藩の城下町に続く奥州道中（街道）や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村風景となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物や井戸、南仙北遺跡では道路跡などの遺構が発見されており、この姿は盛南開発事業が施工される直前、昭和40年代までの本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。

# 第3章 調査成果

## 第1節 細谷地遺跡の立地と概要

**遺跡の位置と立地** 細谷地遺跡は、延暦22年(803)に造営された古代城柵である志波城跡の南東約2.5kmに位置し、北に向中野館遺跡が隣接、北西に飯岡才川遺跡、南西に矢盛遺跡、南東に南仙北遺跡が囲んでいる。なお、志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南端縁辺部にあたり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約600m、南北約280mをはかる。遺跡の西部・中央部が盛岡南新都市開発整備事業区域(都市再生機構施工)、南東部が都市再生整備計画事業区域(盛岡市施工、道明地区土地区画整理事業)となっている。

**遺跡の概要** 盛岡南新都市開発整備事業に伴い実施した発掘調査成果が報告済みであり、これまで県埋文センターと市教委の発掘調査により、向中野館遺跡から連続して旧河道に面する細谷地遺跡の中央北縁から南東部にかけて帯状に長く、8世紀前葉～10世紀の古代集落が確認されている。両遺跡を合わせ289棟の竪穴建物跡が精査されており、盛南地区で台太郎遺跡(700棟以上)に次ぐ大規模集落である(盛岡市遺跡の学び館2017)。向中野館遺跡の中央を東西に横断する旧河道は、9世紀前葉から始まる水場祭祀遺構となっており、木簡などの木製品が多く出土している。この旧河道の北西に隣接する飯岡才川遺跡東集落には、9世紀後半の大型竪穴建物と計画的配置の総柱掘立柱建物が集中しており、多数の須恵器が出土している。

## 第2節 調査内容

### (1) 第37次調査(平成29年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、道明地区土地区画整理事業に伴う本調査として実施した(第1図)。調査区は、平成28年度実施の第36次調査I区(盛岡市ほか2019)の南隣西側のI区、南隣東側のII区、東隣のIII区に分かれており、調査面積は4,692㎡。重機により表土を全面除去し、遺構検出を行った。このうちI区は半分以上が過去の沈殿池建設工事による削平・攪乱を受け、またIII区も大半が既存住宅建築工事による削平・攪乱を大きく受けていた。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、I区が縄文時代の陥し穴7基(RD607～613)、古代以降の土坑2基(RD614・615)・溝跡6条(RG107～112)、ピット、II区が縄文時代の陥し穴1基(RD616)、古代の溝跡1条(RG113)、ピット、近現代の廃棄土坑9基(RD901～909)、III区が近現代の廃棄土坑3基(RD910～912)と旧河道である(第2～4図)。I～III区の遺構総数は、縄文時代の陥し穴8基(RD607～613・616)、古代の溝跡1条(RG113)、古代以降の土坑2基(RD614・615)・溝跡6条(RG107～112)、ピット、近現代の廃棄土坑12基(RD901～912)となる。

・陥し穴

**RD607** (第5図)

**位置** I区西部中央 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.3 m, 幅0.08 m, 深さ0.7 m

**埋土** A1層, B1・2層, C1～3層, D1層, E1層 (第1表)

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD608** (第5図)

**位置** I区北部中央 **重複関係** なし **平面形** 溝状

**規模** 長さ2.3 m以上 (調査区外), 幅0.5 m, 深さ0.76 m

**埋土** A1・2層, B1層, C1～3層, D1・2層, E1層, F1層 (第1表), 底面より湧水

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD609** (第5図)

**位置** I区北部中央 **重複関係** なし **平面形** 溝状

**規模** 長さ2.5 m以上 (攪乱削平), 幅0.4 m, 深さ0.68 m以上 (攪乱削平)

**埋土** A1～3層, B1～3層, C1層, D1層, E1層 (第1表), 底面より湧水

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD610** (第5図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ4.0 m, 幅0.56 m, 深さ0.64 m

**埋土** A1・2層, B1～3層, C1層, D1・2層, E1・2層 (第1表), 底面より湧水

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD611** (第5図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.74 m, 幅0.56 m, 深さ0.96 m

**埋土** A1層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1・2層 (第1表), 底面より湧水

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD612** (第6図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.58 m, 幅0.6 m, 深さ0.82 m

**埋土** A1・2層, B1・2層, C1層, D1～3層, E1層, F1層 (第1表), 底面より湧水

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD613** (第6図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.5 m, 幅0.6 m, 深さ1.08 m

**埋土** A1層, B1・2層, C1～3層, D1層, E1層, F1層, G1層, H1層 (第2表)

**出土遺物** なし **時期** 縄文時代

**RD616** (第11図)

**位置** II区北東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.3 m, 幅0.36 m, 深さ0.28 m  
**埋土** A1・2層, B1層, C1層(第2表) **出土遺物** なし **時期** 縄文時代

・土坑

**RD614** (第6図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形 **規模** 径0.8 m, 深さ0.3～0.35 m  
**埋土** A1・2層, B1層, C1・2層, D1層(第2表), すべて人為堆積  
**出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RD615** (第6図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形 **規模** 径0.7 m, 深さ0.38～0.5 m  
**埋土** A1～4層, B1層, C1層, D1・2層, E1層, F1層(第2表), すべて人為堆積  
**出土遺物** なし **時期** 古代以降

・溝跡

**RG107** (第8図)

**位置** I区北西部 **重複関係** なし  
**規模等** 幅0.3～0.4 m, 延長5.5 m以上(調査区外), 深さ0.03 m, 途切れながら北東から南西に走る。  
**埋土** A1・2層, B1層(第2表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG108** (第7図)

**位置** I区南東部 **重複関係** なし  
**規模等** 幅0.3～0.4 m, 延長12.0 m以上(調査区外), 深さ0.06～0.08 m, ほぼ東西に走る。  
**埋土** A1層, B1・2層(第2表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG109** (第7図)

**位置** I区南東部 **重複関係** ピット  
**規模等** 幅0.25～0.6 m, 延長16.9 m, 深さ0.08～0.14 m, 北北東から南南西に走る。  
**埋土** A1・2層, B1層(第2表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG110** (第8図)

**位置** I区南東部 **重複関係** なし  
**規模等** 幅0.15～0.25 m, 延長8.9 m, 深さ0.03～0.06 m, 南東から北西に「し」字形に屈曲して走る。  
**埋土** A1層, B1層(第2表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG111** (第8図)

**位置** I区北東部 **重複関係** なし

**規模等** 幅 0.14 m, 延長 1.9 m, 深さ 0.03 m, 東西に弧状に走る。

**埋土** A1 層 (第 2 表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

#### RG112 (第 8 図)

**位置** I 区北東部 **重複関係** なし

**規模等** 幅 0.07 ~ 0.26 m, 延長 5.0 m, 深さ 0.04 ~ 0.07 m, 東西に弧状に走る。

**埋土** A1 層・B1 層 (第 2 表) **出土遺物** 土師器甕・須恵器甕破片 **時期** 古代以降

#### RG113 (第 11 図)

**位置** II 区南東部 **重複関係** なし

**規模等** 幅 0.36 ~ 0.56 m, 延長 6.56 m 以上 (調査区外), 深さ 0.1 m, 東北東から西南西に走る。

**埋土** A1・2 層 (第 2 表), A1 層に灰白色テフラ **出土遺物** 土師器甕・坏破片 **時期** 古代

#### ・ピット

I 区内に 31 口, II 区内に 7 口, 計 38 口の古代以降のピットを検出した (第 9 ~ 11 図)。ピットの規模は第 3 表のとおりである。

#### ・旧河道

II 区南東端及び III 区東端部が旧河道となっており, サブトレンチを入れて確認を行ったが, 遺物等の出土はみられなかった。

#### ・石器

II 区沢状低地堆積層より玉髓の剥片 1 点 (一部自然面残存) が出土した。

#### ・近世遺物

II 区攪乱内より寛永通宝 1 点 (約 1/4 残存), 近世陶磁器が出土した。

#### ・廃棄土坑

##### RD901 (第 3 図)

**位置** II 区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 3.2 m, 短軸 2.5 m

**出土遺物** 近現代ガラス瓶・陶磁器

##### RD902 (第 3 図)

**位置** II 区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 3.8 m, 短軸 2.2 m

**出土遺物** 近世陶磁器 (第 12 図 3), 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・磁器人形・真空管

##### RD903 (第 3 図)

**位置** II 区南東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸 4.5 m, 短軸 3.0 m (東半部は第 38 次調査で精査)

**出土遺物** 近世陶磁器, 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・タイル・碇子・磁器フック・磁器分電器

**RD904** (第 3 図)

**位置** II 区南東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 3.0 m, 短軸 1.7 m

**出土遺物** 近世陶磁器 (第 12 図 2), 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・タイル・碇子

**RD905** (第 3 図)

**位置** II 区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 2.8 m, 短軸 1.7 m

**出土遺物** 近世陶磁器 (第 12 図 1), 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・磁器分電器

**RD906** (第 3 図)

**位置** II 区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 4.2 m, 短軸 2.8 m

**出土遺物** 近世陶磁器, 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・土人形

**RD907** (第 3 図)

**位置** II 区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 3.2 m, 短軸 1.8 m

**出土遺物** 近現代ガラス瓶・陶磁器・タイル・碇子

**RD908** (第 3 図)

**位置** II 区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 3.1 m, 短軸 1.8 m

**出土遺物** 近世陶磁器, 近現代ガラス瓶・陶磁器

**RD909** (第 3 図)

**位置** II 区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 4.2m, 短軸 1.5m

**出土遺物** 近現代ガラス瓶・陶磁器

**RD910** (第 4 図)

**位置** III 区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 0.6m, 短軸 0.5m

**出土遺物** 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品

**RD911** (第 4 図)

**位置** III 区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 0.8 m, 短軸 0.4 m

**出土遺物** 近現代ガラス瓶・陶磁器

**RD912** (第 4 図)

**位置** III 区北西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 0.8 m, 短軸 0.4 m

**出土遺物** 近世陶磁器 (第 12 図 4), 近現代ガラス瓶・陶磁器・ガラス製品・土人形・碇子

# 第4章 総括

## 1. 調査のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成29年度の細谷地遺跡発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。以下、調査内容のまとめを行い、総括とする。

### 細谷地遺跡第37次調査

平成29年度に行った第37次調査は、平成27・28年度の第35・36次調査区の南に隣接しており、Ⅰ～Ⅲ区の遺構総数は、縄文時代の陥し穴8基(RD607～613・616)、古代の溝跡1条(RG113)、古代以降の土坑2基(RD614・615)・溝跡6条(RG107～112)、ピット、近現代の廃棄土坑12基(RD901～912)である。

【先史】先史時代の遺構としては、縄文時代の陥し穴8基(RD607～613・616)が検出されている。このうち、Ⅰ区北東部・北部中央の計6基は、これらの北側に隣接する第34次調査Ⅰ区・第35次調査Ⅰ区・第36次調査Ⅰ区に広がる全長約135m・全幅約20mの大規模な帯状の陥し穴群(盛岡市ほか2018, 盛岡市ほか2019)の南端部を構成していると考えられ、陥し穴群の総全長は約150mをはかる。

【古代】古代の遺構としては、Ⅱ区南東部で溝跡1条(RG113)が検出されている。この溝跡は東の旧河道に面した微高地端部に沿って走り、幅0.36～0.56m、深さ0.1mをはかる。埋土上層には灰白色テフラ(十和田a火山灰, 915年降下)が混じる。

【近世】近現代廃棄土坑より18～19世紀の近世陶磁器が出土している(第12図, 第4表, 写真第10図版)。緑褐色の瀬戸・美濃灰釉徳利(刻書「大」, 第12図1), クリーム色の瀬戸・美濃灰釉鉢(第12図2), 濃緑色の寺町焼灰釉鉢(第12図3)・壺, 肥前染付皿(第12図4)・輪花皿・碗・猪口のほか、大堀相馬猪口の破片が見られる。年代的には、肥前染付の4が18世紀, その他は19世紀と考えられる。なお、「寺町焼」とは、盛岡城下の花屋丁惣門付近にあったと伝承される宝永年間から明治初年頃まで操業された御用瓦窯「寺町窯」で焼かれたやきものである。青粘土「名須川土」の胎土が特徴的とされ、現在の本町通2丁目地内で行われた盛岡城遠曲輪跡第13次調査では、堀跡とともに粘土採掘坑が発見され、燻瓦・赤瓦・陶磁器・窯道具類が多数出土しており(盛岡市遺跡の学び館2014)、陶磁器の胎土に類似性が見られる。

【近現代】Ⅱ区から9基(RD901～909)、Ⅲ区から3基(RD910～912)、計12基の近世陶磁器及び近現代陶磁器類・ガラス瓶・ガラス製品・金属製品・プラスチック製品等が多量に廃棄された土坑状の遺構が検出された。本書では当該遺構を「廃棄土坑」と呼称したが、出土遺物の時期は前述の18・19世紀から明治、大正、昭和初期そして戦後の昭和40・50年代にまで及ぶと考えられる(写真第11～36図版, 第5～9表)。

### 【引用・参考文献】

桜井準也 2019 『増補 ガラス瓶の考古学』六一書房

盛岡市遺跡の学び館 2014 『開館10周年特別展「もりおか発掘物語」図録』

盛岡市遺跡の学び館 2017 『第15回企画展「志波城前夜」の蝦夷(エミシ)社会-9世紀初頭以前の盛南地区-』図録』

盛岡市・盛岡市教育委員会 2018 『盛南地区遺跡群発掘調査報告書X-道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成20～26年度発掘調査-細谷地遺跡 夕覚遺跡』

盛岡市・盛岡市教育委員会 2019 『盛南地区遺跡群発掘調査報告書XI-道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成27・28年度発掘調査-細谷地遺跡』

第1表 細谷地遺跡第37次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD607 陥し穴	A1	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	小塊	15	硬	密	
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	10YR2/3 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	5	中	密	
	B2	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SIC シルト質埴土	小塊	3	中	密	酸化鉄多量に混じる
	C1	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR3/3 黒褐色	SIC シルト質埴土	塊	7	中	中	
	C2	10YR1.7/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	15	中	密	
	C3	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR5/6 黄褐色	SIC シルト質埴土	粒	25	中	中	
	D1	10YR5/1 褐灰色	HC 重埴土	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	10	中	中~密	
E1	10YR2/2 黒褐色	HC 重埴土	10YR5/4 にぶい黄褐色	HC 重埴土	粒	5	中	中		
RD608 陥し穴	A1	10YR3/1 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	7	中~硬	密	炭化物粒微量、酸化鉄多量に混じる
	A2	10YR3/1 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR6/6 明黄褐色	SIC シルト質埴土	粉~粒	3	中	中	
	B1	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	10YR2/3 黒褐色	SIC シルト質埴土	塊	15	中	密	
	C1	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR6/3 にぶい黄褐色	HC 重埴土	塊	20	中	中	酸化鉄多量に混じる
	C2	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR5/2 灰黄褐色	HC 重埴土	小塊	7	中	中~密	酸化鉄多量に混じる
	C3	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR5/2 灰黄褐色	HC 重埴土	塊	20	中	中	酸化鉄多量に混じる
	D1	10YR6/1 褐灰色	HC 重埴土	10YR2/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	5	中	密	
	D2	10YR6/1 褐灰色	HC 重埴土	10YR3/3 暗褐色	SIC シルト質埴土	粒	2	中	中	
	E1	10YR2/1 黒色	HC 重埴土	10YR5/4 にぶい黄褐色	HC 重埴土	粒	5	中	中~密	
	F1	10YR2/2 黒褐色	HC 重埴土	10YR5/1 褐灰色	HC 重埴土	粒	15	軟~中	中	底面より湧水
RD609 陥し穴	A1	10YR3/1 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR5/2 灰黄褐色	SIC シルト質埴土	小塊	7	中	密	
	A2	10YR3/1 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR5/2 灰黄褐色	SIC シルト質埴土	塊	15	中	中	酸化鉄少量混じる
	A3	10YR2/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR4/2 灰黄褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	10	中	中	酸化鉄少量混じる
	B1	10YR5/1 褐灰色	SIC シルト質埴土	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	小塊	2	中	密	酸化鉄混じる
	B2	10YR5/1 褐灰色	SIC シルト質埴土	10YR2/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	20	中	中	酸化鉄混じる
	B3	10YR6/1 褐灰色	SIC シルト質埴土	10YR2/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒	5	中	密	酸化鉄混じる
	C1	10YR2/1 黒色	HC 重埴土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	粒	3	軟~中	中	
	D1	10YR5/1 褐灰色	SIC シルト質埴土	10YR4/4 褐色	HC 重埴土	粒~小塊	7	中	中	
	E1	10YR2/1 黒色	HC 重埴土	10YR5/1 褐灰色	HC 重埴土	粒	10	軟~中	中	底面より湧水
RD610 陥し穴	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	粒	10	中~硬	密	炭化物粒微量混じる
	A2	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	塊	20	中~硬	中	
	B1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴土	粒	7	中	密	酸化鉄少量混じる
	B2	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	小塊	3	中	中	酸化鉄多量に混じる
	B3	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴土	塊	15	中	中	酸化鉄混じる
	C1	10YR5/6 黄褐色	SIC シルト質埴土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	塊	5	中	密	
	D1	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR6/6 黄褐色	SIC シルト質埴土	塊	7	軟~中	中	
	D2	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR6/8 明黄褐色	SIC シルト質埴土	小塊	3	軟~中	中	
	E1	10YR5/2 灰黄褐色	HC 重埴土	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	10	中	中	
	E2	10YR5/2 灰黄褐色	HC 重埴土	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒	2	中	中	底面より湧水
RD611 陥し穴	A1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	粒	5	硬	密	
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	塊	15	中~硬	密	
				10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴土	粒~小塊	5			
	B2	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	粒~小塊	10	中	密	
				10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴土	塊	15			
	C1	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	塊	20	中	中	酸化鉄多量に混じる
	D1	10YR2/1 黒色	SIC シルト質埴土	10YR6/1 褐灰色	SIC シルト質埴土	塊	15	中	密	
	E1	10YR6/2 灰黄褐色	SL 砂埴土	10YR6/4 にぶい黄褐色	SL 砂埴土	塊	10	中	密	
	F1	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR6/2 灰黄褐色	SL 砂埴土	小塊	7	軟~中	中	
	G1	10YR5/2 灰黄褐色	SL 砂埴土	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	粒	5	軟~中	中	
G2	10YR5/2 灰黄褐色	SL 砂埴土	10YR3/3 暗褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	10	軟	中	底面より湧水	
RD612 陥し穴	A1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	粉~粒	2	硬	密	
	A2	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴土	粒~小塊	15	硬	密	
	B1	10YR3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴土	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴土	塊	20	中~硬	密	
	B2	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴土	粒	10	中	密	
	C1	10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴土	塊	7	中	中	
	D1	10YR3/1 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR4/6 褐色	SIC シルト質埴土	小塊	15	中	中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR5/6 黄褐色	SIC シルト質埴土	粒	10	中	中	
	D3	10YR3/2 黒褐色	SIC シルト質埴土	10YR4/4 褐色	SIC シルト質埴土	粒~小塊	7	中	密	
	E1	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIC シルト質埴土	10YR3/3 暗褐色	SIC シルト質埴土	塊	15	中	中	
	F1	10YR6/2 灰黄褐色	HC 重埴土	10YR3/3 暗褐色	SIC シルト質埴土	粒	5	中	中	底面より湧水

第2表 細谷地遺跡第37次調査遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD613 陥し穴	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒	5	硬	密	
	B1	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~塊	15	中~硬	密	
	B2	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	小塊	7	中~硬	中~密	
	C1	10YR3/1 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	小塊	15	中	中~密	
	C2	10YR3/1 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質埴壤土	塊	25	中	中	
	C3	10YR3/2 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~小塊	7	中	中	
	D1	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	小塊	5	中	中	
	E1	10YR3/2 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒	7	中	密	
	F1	10YR4/4 褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/4 暗褐色	SiC シルト質埴壤土	粒~小塊	10	中	中	
	G1	10YR5/2 灰黄褐色	SL 砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒	5	軟~中	中	
H1	10YR3/2 黒褐色	HC 重埴土	10YR5/6 黄褐色	SL 砂壤土	粒~小塊	15	中	中		
RD616 陥し穴	A1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒	3	中~硬	密	
	A2	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	塊	15	硬	密	
	B1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~小塊	10	中~硬	中~密	
				10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	塊	15			
C1	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	5	中	密		
RD614 土坑	A1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~塊	15	中	密	炭化物粒少量混じる。人為堆積
	A2	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	5	中	密	人為堆積
	B1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	3	中	中	φ 3cm 礫少量。炭化物粒混じる。人為堆積
	C1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~小塊	15	中	中	人為堆積
	C2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	10	中	中	人為堆積
	D1	10YR4/6 褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒~塊	7	中	中	人為堆積
RD615 土坑	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	10	中	密	炭化物粒微量混じる。人為堆積
				10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	7			
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR6/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	3	中	密	人為堆積
	A3	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~小塊	25	中	密	人為堆積
	A4	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	15	中	密	人為堆積
				10YR6/8 明黄褐色	SIL シルト質埴壤土	小塊	10			
	B1	10YR6/8 明黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR6/3 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒	15	中	密	人為堆積
				10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒~小塊	7			
	C1	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	10	中	中~密	人為堆積
	D1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒	7	中	中	人為堆積
	D2	10YR1.7/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒~塊	20	中	中	人為堆積
E1	10YR6/4 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	3	中	中	人為堆積	
F1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SiC シルト質埴壤土	塊	5	中	中	人為堆積	
RG107 溝跡	A1	10YR3/1 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/4 暗褐色	SiC シルト質埴壤土	粉~粒	5	中~硬	密	酸化鉄少量混じる
	A2	10YR3/1 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiC シルト質埴壤土	粒~小塊	10	中	密	酸化鉄混じる
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/2 黒褐色	SiC シルト質埴壤土	粒	15	中	密	酸化鉄多く混じる
RG108 溝跡	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	7	中~硬	密	
	B1	10YR4/2 灰黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒~小塊	15	中	中	
				10YR5/4 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	塊	10			
B2	10YR4/2 灰黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	10	中	密		
RG109 溝跡	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒	3	硬	密	
	A2	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	10	中~硬	密	φ 3cm 礫少量混じる
	B1	10YR4/4 褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊	15	中	密	
RG110 溝跡	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	粒	2	中~硬	密	
	B1	10YR5/3 にぶい黄褐色	SiC シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	15	中	中~密	
RG111 溝跡	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質埴壤土	塊	13	-	-	
RG112 溝跡	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SIL シルト質埴壤土	粉~粒	3	中~硬	密	炭化物粒少量混じる
	B1	10YR4/4 褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	小塊	10	中	密	
RG113 溝跡	A1	10YR3/1 黒褐色	SIL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SIL シルト質埴壤土	粒~塊	7	中	中~密	酸化鉄多く混じる 十和田 a 火山灰
				灰白色	テフラ	粉~粒	10			
A2	10YR4/1 褐灰色	SC 砂質埴壤土	10YR5/2 灰黄褐色	SIL シルト質埴壤土	小塊	15	中	密	砂・φ 2 - 4cm 礫混じる	

第3表 細谷地遺跡第37次調査ピット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.32	0.18	14	0.22	0.06	27	0.33	0.15
2	0.34	0.15	15	0.22	0.13	28	0.20	0.05
3	0.20	0.20	16	0.40	0.08	29	0.30	0.15
4	0.25	0.10	17	0.18	0.10	30	0.50	0.17
5	0.45	0.20	18	0.27	0.07	31	0.27	0.08
6	0.32	0.13	19	0.38	0.14	32	0.25	0.14
7	0.32	0.17	20	0.25	0.17	33	0.50	0.20
8	0.40	0.12	21	0.28	0.10	34	0.57	0.26
9	0.24~0.50	0.17	22	0.25	0.13	35	0.30	0.13
10	0.20	0.07	23	0.28	0.20	36	0.60	0.47
11	0.23	0.11	24	0.38	0.18	37	0.44	0.25
12	0.30	0.10	25	0.30	0.15	38	0.60	0.27
13	0.40	0.18	26	0.36	0.14			

第4表 細谷地遺跡第37次調査出土近世陶磁器観察表

図	番号	写真 図版	遺構名	台帳 No.	形態		出土		寸法 (cm)				底部	器面		特徴・年代等
					区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径		外面	内面	
12	1	10	RD905	1	近世陶器	德利	Q10-U14	埋土	22.4	2.9	11.3	8.0	無釉	灰釉、刻書「大」、 口縁一部欠損	灰釉 (口頭のみ)	瀬戸・美濃、19世紀
12	2	10	RD904	2	近世陶器	鉢	Q11-U12	埋土	11.8	21.8	22.3	11.4	無釉	灰釉、口縁肥厚	灰釉、目跡	瀬戸・美濃、19世紀
12	3	10	RD902	3	近世陶器	鉢	Q11-K7	埋土	(10.5)	—	(24.0)	—	無釉	灰釉、口縁欠損	灰釉、目跡	名須川土、寺町焼、 19世紀
12	4	10	RD912	11	近世磁器	染付皿	—	埋土	3.1	13.0	—	8.0	銘「大明成化 年製」か	染付五弁花、唐 草文	染付唐草文	肥前、18世紀

第5表 細谷地遺跡第37次調査出土近代ガラス瓶観察表(1)

写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態				栓種	色調・気泡等	彫刻・印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代	
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部						底部
11	001	RD902	001	酒瓶	ビール瓶	29.0	2.6	7.9	6.7	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	彫刻肩「(商標) TRADA MARK」, 肩下「DAINIPPON BREWERY CO. LTD.」, 底「6 (星マーク) 3」	大日本麦酒 (1906-49)	明治39~昭和24年
11	002	RD905	035	酒瓶	ビール瓶	24.1	2.6	6.2	5.4	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	彫刻肩「タカラビール TAKARA BEER」, 肩下「まる正334ml」, 底「51 (記号) Y」	宝酒造「タカラビール」 (1957中瓶発売, 1959小瓶発売, 1967撤退), 日本硝子横浜工場製瓶	昭和34~42年
11	003	Ⅲ区	271	酒瓶	ビール瓶 (アメリカ製)	17.2	2.6	6.8	5.9	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	肩布目風模様, 彫刻肩「NO DEPOSIT NO RETURN」 「NOT TO BE REFILLED」, 底「8665-A」 「6 (星マーク) 45」 「56」	アメリカ進駐軍フンウェイビール, アンカーホッキング社製瓶	昭和20年代初頭
11	004	RD912	299	酒瓶	ビール瓶 (アメリカ製)	17.2	2.6	6.9	5.8	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	肩布目風模様, 彫刻肩「NO DEPOSIT NO RETURN」 「NOT TO BE REFILLED」, 底「6 (マーク) 5」 「12」 「Duraglas」	アメリカ進駐軍フンウェイビール, オースン・イリス社製瓶	昭和20年代初頭
11	005	RD912	300	酒瓶	ビール瓶 (アメリカ製)	19.1	2.6	6.5	5.4	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	底布目風模様, 彫刻肩「NO DEPOSIT NO RETURN」 「NOT TO BE REFILLED」, 底「20 (マーク) 3」 「100 Duraglas 1-WAY」 「7-CB」	アメリカ進駐軍フンウェイビール, オースン・イリス社製瓶	昭和20年代初頭
12	006	RD902	033	酒瓶	ワイン瓶	34.8	2.6	7.1	6.6	細口	長首	なで肩	断面円形	やや上げ底	王冠	無色透明	彫刻全体草花模様, 肩「FLORENT」, 肩下「6800 意匠登録第五三三七六號」	商品・メーカー不明, 大坂市水谷保祐1931意匠登録	昭和6~20年代
12	007	RD902	004	酒瓶	ワイン瓶	25.1	2.6	7.3	5.9	細口	長首	なで肩	断面円形	やや上げ底	王冠	緑色半透明	彫刻肩「SPARKLING APPLE CHAMPAGNE」 「Pom Pan」, 肩下「KOTOBUKIYA LIMITED」, 底「3」	壽屋 (1899創業, 1921壽屋, 1963サントリー) 「林檎シャンパン ポンパン」 (1935発売)	昭和10年代か
12	008	RD911	040	酒瓶	日本酒瓶	28.7	2.6	7.7	6.1	細口	長首	なで肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻肩「岩手川」 縦, 肩下「正味640ml」, 肩下端「Y」, 底「15」	岩手川 (1872創業, 1953浜勝酒造店, 1970岩手川, 2006廃業), 山形硝子本社工場製瓶	昭和30年代以降
13	009	RD912	037	酒瓶	日本酒瓶	28.6	2.6	7.7	6.4	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻肩「登録 (商標) 商標 TAKARA」, 肩下「寶酒造株式会社 正味640cc 詰」, 底「H10」	宝酒造 (1905創業), 広島硝子工業本社工場製瓶	昭和30年代後半以降
13	010	RD912	044	酒瓶	ウイスキー瓶	15.2	2.3	8.1 × 3.6	6.4 × 2.6	細口	短首	いかり肩	断面楕円形, ポケット瓶	平底	スクリュー	無色透明	彫刻首「DAIKOKU BUDOSHU」, 肩切子風模様 ラベル枠, 底「K.T」	大黒葡萄酒 (1898創業, 1934大黒葡萄酒造, 1961オーション, 1990メルシャン) 「オーションウイスキー」 (1946発売)	昭和21~30年
13	011	RD905	045	酒瓶	ウイスキー瓶	15.2	2.3	8.0 × 3.6	6.7 × 3.2	細口	短首	いかり肩	断面楕円形, ポケット瓶	平底	スクリュー	褐色半透明	彫刻肩「Nikka」, 肩下「まる正180ml」, 底「2 SN」	大日本洋酒 (1934創業, 1952ニッカウヰスキー), 新日本硝子製瓶	昭和30年代以降
					分類	寸法 (cm)				形態									
写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部	底部	栓種	色調・気泡等	彫刻・印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代
13	012	Ⅲ区	328	清涼飲料瓶	サイダー瓶	22.6	2.6	6.8	5.1	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡緑色透明, 気泡	彫刻肩「KINSEN」, 肩下「金線飲料株式会社製造」 右読み, 底「(まるBマーク)」	金線飲料 (1899「金線サイダー」発売, 1915-25金線飲料)	大正4~14年
13	013	RD911	041	清涼飲料瓶	サイダー瓶	23.4	2.6	6.5	5.1	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡緑色透明	彫刻肩下「(大)大日本麦酒株式会社製造」 右読み, 底「(星マーク) 30 A」	大日本麦酒「シトロ」 (1909発売, 1915リボンシトロ)	明治42~昭和24年
14	014	RD902	005	清涼飲料瓶	サイダー瓶	24.5	2.6	6.7	5.8	細口	長首	なで肩	断面円形	平底	王冠	緑色半透明	彫刻肩下「登録 (三ツ矢マーク) 商標 日本麦酒醸造株式会社」 右読み, 底「(商標)」	日本麦酒醸造 (1922-33) 「三ツ矢印平野シャンペンサイダー」	大正11~昭和8年
14	015	RD902	006	清涼飲料瓶	サイダー瓶	23.4	2.6	6.5	5.2	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡緑色透明	彫刻肩下「登録 (三ツ矢マーク) 商標 日本麦酒醸造株式会社」 右読み, 底「4 1」	日本麦酒醸造 (1922-33) 「三ツ矢印平野シャンペンサイダー」	大正11~昭和8年
14	016	RD911	042	清涼飲料瓶	サイダー瓶	23.4	2.6	6.1	5.2	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡緑色透明	彫刻肩「(三ツ矢マーク)」, 肩下「ASAHI BREWERIES LTD.」, 底「(星) 1」	朝日麦酒 (1949-) 「全糖三ツ矢サイダー」 (1952発売)	昭和27~31年
14	017	RD905	043	清涼飲料瓶	ジュース瓶	21.7	5.2	5.2	4.2	細口	長首	なで肩	立面胴部くびれ, 断面円形	平底	王冠	無色透明	彫刻胴上部風車模様, 胴中部「Fresh Drinks」, 胴下部波線模様, 底「12 (記号) 6」	共用瓶か, 石塚硝子愛知本社工場 (1953操業) 製瓶	昭和28~31年
14	018	RD902	003	清涼飲料瓶	ジュース瓶	24.2	2.6	6.6	5.7	細口	長首	なで肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	彫刻胴斜め「Nikka」 × 4, 底「8」	ニッカウヰスキー「ニッカアップルジュース」 (弘前工場製造) か	昭和45年頃
14	019	RD902	046	清涼飲料瓶	ジュース瓶 (濃縮果汁)	15.6	3.1	9.0	7.5	細口	長首 (把手付)	いかり肩	断面円形	平底	王冠	無色透明	彫刻胴上「KO Rin」, 肩下「KOTOBUKIYA LTD. TOKYO AND OSAKA」	壽屋 (1899創業, 1921壽屋, 1963サントリー) 「林檎汁コーリン」 (1932発売)	昭和10年代か
15	020	Ⅲ区	067	清涼飲料瓶	乳性飲料瓶	6.6	3.2	3.6	3.0	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「クレフ」, 「生酪カーラ鉛 はっ酵乳」 縦 「Karagol」, 彫刻底「2-6 (記号)」	三河カーラ (愛知県), 大和硝子製瓶	昭和30年頃
15	021	RD902	002	清涼飲料瓶	乳性飲料瓶 (濃縮)	28.8	2.6	7.6	6.0	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	褐色半透明	彫刻肩「(黒人マーク) TRADE MARK」, 肩下「カルビス」 右読み, 底「Q4」	ラクトー「カルビス」 (1919発売, 1925新復用瓶630ml発売-1947)	大正14~昭和22年
15	022	RD903	316	清涼飲料瓶	ニッキ水瓶	(5.0)	1.4	2.6	欠損	細口	長首	なで肩	瓶形, 断面円形	欠損	コルクまたは紙	淡緑色透明, 気泡多い	彫刻ねじり縦線模様	駄菓子・露店用	大正~昭和初期

第6表 細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(2)

写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態				栓種	色調・気泡等	彫刻・印刷等	社名・商品名・製瓶会社等	年代	
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部						底部
15	023	RD902	007	乳製品瓶	牛乳瓶	19.4	3.3	5.1	4.2	細口	短首	なで肩	断面方形	平底	コルクまたは 紙栓+フード	無色透明・気 泡	彫刻胴「全乳」「一八〇瓦」縦 「一合」右読み、ラベル特	不明	昭和初期～20年 代
15	024	RD902	008	乳製品瓶	牛乳瓶	19.6	2.6	5.3	4.1	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	王冠	無色透明・気 泡	彫刻胴「大清水小路 中村ミル クブランド」「全乳 一、八割」 「高温殺菌」縦	不明	昭和初期～20年 代
16	025	RD902	009	乳製品瓶	牛乳瓶	17.1	2.6	5.5	4.5	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	王冠	無色透明	彫刻胴「高温殺菌 全乳」縦 「正味180cc.」底「A (記号) 10」	不明、徳永硝子硝工場製 瓶	昭和初期～20年 代
16	026	RD912	047	乳製品瓶	牛乳瓶	18.5	2.6	5.3	4.7	細口	短首	なで肩	断面円形、「菊 型瓶」	平底	王冠	無色透明	彫刻胴「守山牛乳 PAT.NO 410688-9」 「TRADE MARK (商標) 180c.c.入」	守山商会(創業1918、守山 乳業)「守山牛乳」、菊型瓶 (1929頃使用開始)	昭和初期～20年 代
16	027	RD903	010	乳製品瓶	牛乳瓶	13.5	4.5	6.0	4.8	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	極淡緑色透 明・気泡	彫刻胴「岩手牛乳」 「菊話 六四六番」「一、八割」縦、底 「記号」	岩手牛乳(創業1937)、徳 永硝子製瓶	昭和12～20年代
16	028	RD912	050	乳製品瓶	牛乳瓶	13.9	4.5	5.6	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	彫刻底「市乳180c.c. T.K」	不明	昭和25年頃～33 年
16	029	RD912	053	乳製品瓶	牛乳瓶	14.1	4.5	5.7	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「岩手均質牛乳 TEL.646」 「岩手ヨーグルト」 彫刻底「市乳180cc 1 (記号) Y」	岩手牛乳(創業1937)、日 本硝子横浜工場製瓶	昭和25年頃～33 年
17	030	RD912	054	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.4	5.6	4.5	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「均質牛乳ピタD入 岩手牛乳 TEL.646-3913」 彫刻底「(記号) B ①」	岩手牛乳(創業1937)、石 塚硝子製瓶	昭和28～33年
17	031	RD902	011	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.4	5.7	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「均質牛乳ピタD入 岩手牛乳」 彫刻胴下「まる 正180cc」・底「(記号)」	岩手牛乳(創業1937)、石 塚硝子製瓶	昭和30年代中期
17	032	RD905	012	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.4	5.7	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL青胴「ウルトラ・プロセス 岩手牛乳 TEL. (2) 6912 6913」 「ピンは必ずお返し下 さい」 彫刻胴下「まる正180cc」 ・底「86 (記号) Y 1-12」	岩手牛乳(創業1937)、日 本硝子横浜工場製瓶	昭和30年代中期
17	033	RD905	052	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.5	5.6	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「雪印牛乳 (商標) 赤、胴下「雪印バター」、彫刻 胴下「まる正180cc」 底「(記 号) Y 1-5」	雪印乳業(1925創業、2003 日本ミルクコミュニケー ションズ)「雪印バター」、彫刻 胴下「まる正180cc」 底「(記 号) Y 1-5」	昭和30年代中期 頃
17	034	RD911	055	乳製品瓶	牛乳瓶	13.9	4.5	5.6	4.5	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL青胴「ウルトラ・プロセス 岩手牛乳 TEL代表 (3) 5236」 「(商標) ピンは必ずお 返し下さい」 彫刻胴下「まる 正180cc」 胴下端「6 (月打刻) Y (記号) 19」	岩手牛乳(創業1937)、日 本硝子横浜工場1966年9月 製瓶	昭和41年
18	035	RD911	060	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.5	5.0	4.0	広口	短首	なで肩	断面方形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL赤胴「ウルトラ デラッ クス 岩手牛乳」 彫刻胴下 「まる正180cc」 胴下端「6 (月 打刻) Y (記号) 28」	岩手牛乳(創業1937)、日 本硝子横浜工場1966年5月 製瓶	昭和41年
8	036	Ⅲ区	063	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.5	5.4	4.5	広口	短首	なで肩	断面八角形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL茶胴「いわて 特濃 加 工乳」 「(商標) 要冷蔵」、彫刻 胴下端「180cc 17 (記号) Y 5 (月打刻)」	岩手牛乳(創業1937)、日 本硝子横浜工場1975年2月 製瓶	昭和50年
18	037	Ⅲ区	065	乳製品瓶	牛乳瓶	14.0	4.5	5.6	4.6	広口	短首	なで肩	断面円形	平底	紙栓+フード	無色透明	ACL青胴上「森永200(マーク morinaga)、胴「意込蓋」、彫 刻胴下部「まる正200cc」、胴 下端「1 (月打刻) K (記号) 126」	森永乳業(創業1917)、日 本硝子川崎工場1971年7月 製瓶	昭和46年
19	038	RD905	071	調味料瓶	ソース瓶	24.4	2.6	6.4	5.2	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻胴下「CHICKEN SAUCE」、底「11 (記号)」	「チキンソース」(1912発売、 当初「スワンソース」、東 洋硝子製瓶か	昭和20年代
19	039	RD905	069	調味料瓶	ソース瓶	23.9	2.6	6.3	5.5	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻胴上「チキン(鶏マーク) ソース」、胴下「まる正360cc」 底「(記号) N 28」	「チキンソース」(1912発売、 当初「スワンソース」、東 洋硝子製瓶か	昭和30年代以降
19	040	RD905	070	調味料瓶	ソース瓶	24.0	2.6	6.3	5.6	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻胴「チキンソース」、胴下 「まる正360ml」 底「2 (記号) Y」	「チキンソース」(1912発売、 当初「スワンソース」、日 本硝子横浜工場製瓶	昭和30年代以降
19	041	RD905	072	調味料瓶	ソース瓶	24.0	2.6	6.3	5.1	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	王冠	淡青色透明	彫刻肩「BULL-DOG」、胴下 「まる正360ml」 底「(記号) N 49」	ブルドッグソース(1902創 業)、東洋硝子製瓶か	昭和30年代以降
19	042	RD902	068	調味料瓶	カレー粉瓶	19.6	2.3	5.8× 2.7	5.3× 2.4	細口	長首	なで肩	断面扁平楕円 形、ハチ形瓶	平底	コルク	淡青色透明	なし	不明	昭和10～20年代
20	043	RD905	022	調味料瓶	コショウ瓶	6.2	1.6	2.1× 2.1	2.4× 2.4	細口	短首	いかり肩	立面台形、断 面方形	平底	スクリュー、 穴あき中蓋	無色透明	彫刻底「3 (S&Bマーク) (記号)」	エスピー食品「コショウ」 10g瓶(1952発売)、新東洋 硝子川崎工場製瓶	昭和27年以降
20	044	RD905	176	調味料瓶	コショウ瓶	8.2	2.1	2.8× 2.8	3.4× 3.4	細口	短首	いかり肩	立面台形、断 面方形	平底	スクリュー、 穴あき中蓋	無色透明	彫刻底「(S&Bマーク) (記 号) 2」	エスピー食品「コショウ」 20g瓶(1952発売)、新東洋 硝子川崎工場製瓶	昭和27年以降
20	045	RD901	014	調味料瓶	うま味調味料 瓶	7.0	2.1	3.8× 2.0	3.7× 1.7	細口	長首	いかり肩	断面横長十角 形	平底	コルク	無色透明	彫刻底「味の素 8」右読み	「味の素」6g入り10銭瓶 (1927-51)	昭和2～26年
20	046	RD901	016	調味料瓶	うま味調味料 瓶	8.2	2.1	4.1× 2.5	3.9× 2.4	細口	長首	いかり肩	断面横長12角 形	平底	スクリュー	無色透明	彫刻底「AJJINOMOTO 1」	「味の素」15g小瓶 (1928-51)	昭和3～26年
20	047	RD904	018	調味料瓶	うま味調味料 瓶	5.9	1.8	3.3	2.6	細口	短首	なで肩、袋 付き	断面円形	平底	スクリュー、 穴あき中蓋	無色透明	ACL赤胴「味の素 15g入り」 「AJJ-NO-MOTO 味の素株 式会社」、彫刻底「(記号) 11」	「味の素」15g瓶 (1953-57)、徳永硝子製瓶 か	昭和28～32年
20	048	RD905	021	調味料瓶	うま味調味料 瓶	7.5	2.2	4.0	3.1	細口	短首	なで肩、袋 付き	断面円形	平底	スクリュー、 穴あき中蓋	無色透明	ACL赤胴「味の素 30g入り」 「AJJ-NO-MOTO 味の素株 式会社」、彫刻底「(記号)」	「味の素」30g瓶(1951-) 、日本硝子製瓶	昭和26年以降

第7表 細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(3)

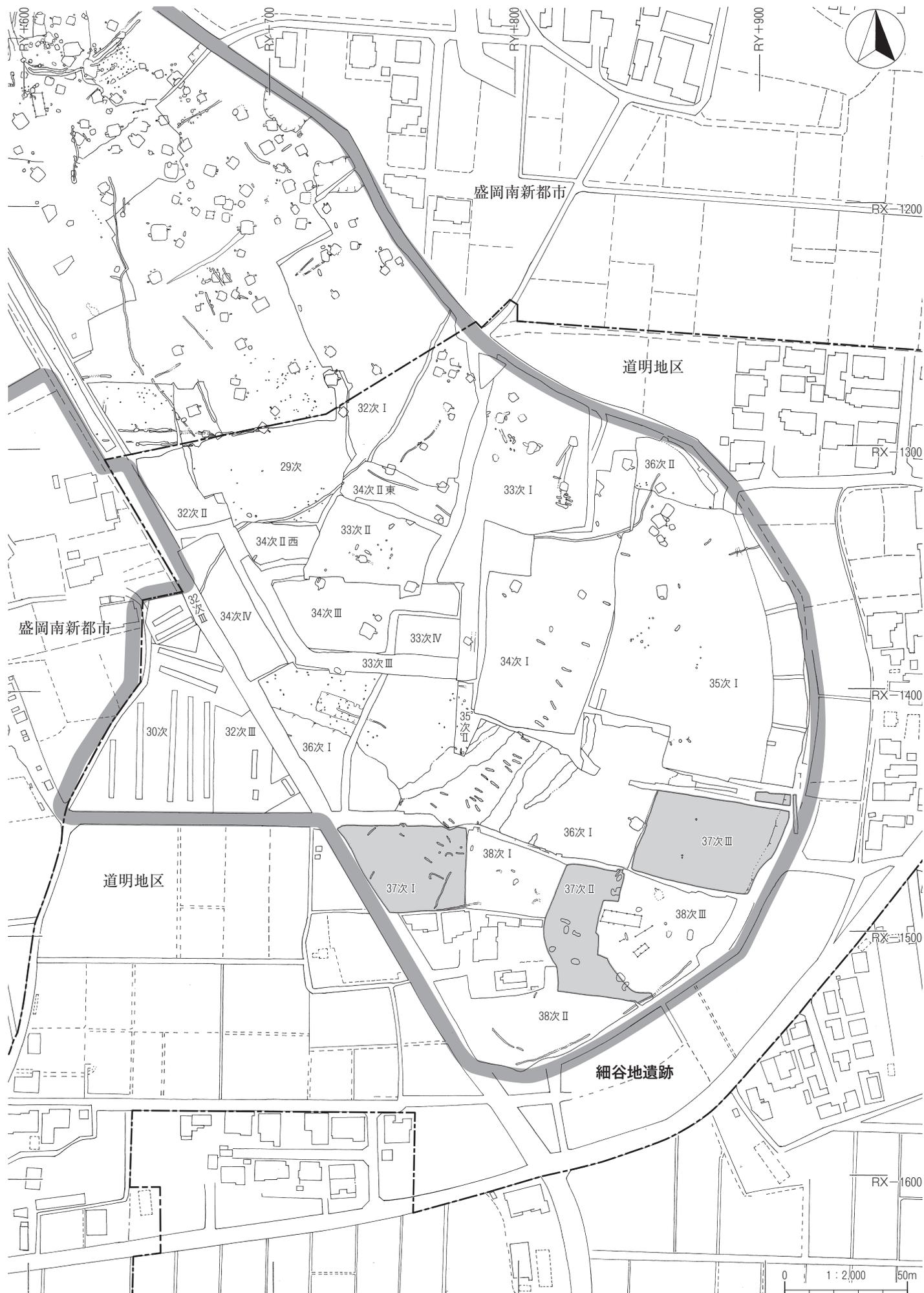
写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態				底	栓種	色調・気泡等	彫刻、印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部						
21	049	RD901	115	食品瓶	佃煮瓶か	11.5	6.3	6.7	4.4	広口	短首	いかり肩	断面十角形	平底	紙蓋か	淡青緑色透明、気泡	彫刻胴下「ホリ商會」	不明	昭和20年代以前
21	050	RD905	184	食品瓶	佃煮瓶か	9.4	5.9	9.1× 6.6	6.9× 4.4	広口	短首	いかり肩	断面楕長六角形	平底	スクリュー	青緑色透明	彫刻胴縦線、彫刻底「(泉マーク)」	不明	昭和30年代か
21	051	RD905	181	食品瓶	佃煮瓶か	8.7	3.2	5.2× 3.9	4.5× 2.6	広口	短首	いかり肩	断面楕長六角形	平底	スクリュー	淡青色透明	彫刻胴下「6」、底「60-12(記号)」	不明、大和硝子製瓶	昭和40年代か
21	052	RD905	179	食品瓶	ふりかけ瓶か	13.8	3.1	5.4	6.1	細口	短首	なで肩	断面十角形	平底	コルク	無色透明	彫刻底「(マーク)」	不明	昭和30年代か
21	053	RD905	185	食品瓶	食用油瓶	23.3	3.0	8.4	7.2	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	スクリュー	無色透明	ACL白胴「(ナイフ・フォークマーク) 日清、天ぷら油、日清製油株式会社」、彫刻胴目盛線、彫刻底「NET 700GR」	日清製油(1907創業、2002日清オイリオ)「天ぷら油」700g瓶	昭和30年代か
21	054	RD912	114	食品瓶	金平糖瓶	12.8	1.3	1.9× 1.1	—	細口	短首	鉄砲形	断面楕長楕円形	—	スクリュー	無色透明、気泡	彫刻模様	菓子入り玩具瓶	大正末～昭和初期
21	055	RD901	121	食品瓶	金平糖瓶	5.2	1.5	3.0× 1.7	2.1× 1.1	細口	長首	香水瓶形	断面楕円形	—	コルクか	無色透明	彫刻縦線模様	菓子入り玩具瓶	大正末～昭和初期
21	056	RD903	110	食品瓶	金平糖瓶	10.8	1.9	5.0× 1.8	4.4× 1.4	広口	短首	水筒形	断面扁平方形(楕円形風)	平底	スクリュー	無色透明、気泡	彫刻胴市松模様・花模様	菓子入り玩具瓶	大正～昭和初期
写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態				底	栓種	色調・気泡等	彫刻、印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部						
22	057	RD905	186	薬瓶	薬品瓶	10.8	0.9	4.9	4.0	極細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュー	無色透明	彫刻肩「Aベンチン」、胴「エステー化学工業株式会社」縦、胴下「100CC」、底「(記号) 0」	エステー化学工業(1946創業、1992エステー化学、2007エステー)、第一硝子製瓶	昭和30年代か
22	058	RD912	293	薬瓶	殺虫剤瓶	19.3	2.5	7.8	6.4	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュー	褐色半透明、気泡	彫刻底「(商標)」	日本農業(1928創立)	大正～昭和初期
22	059	RD912	287	薬瓶	殺虫剤瓶(アメリカ製)	18.7	2.5	7.1	5.8	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュー	無色透明	彫刻底「BLACK 40 LEAF 5」	アメリカ進駐軍殺虫剤「ブラックリーフ40」	昭和20年代初頭
22	060	RD901	025	薬瓶	医療用薬瓶	10.3	1.9	4.6	3.9	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	無色透明、気泡	彫刻肩「購買利用組合 盛岡病院」縦、目盛線	購買販売利用組合盛岡病院(1933-43、現岩手県立中央病院)	昭和8～18年
22	061	RD905	026	薬瓶	医療用薬瓶	12.7	2.3	5.9	4.7	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	無色透明、気泡	彫刻肩「購買利用組合 盛岡病院」縦、目盛線	購買販売利用組合盛岡病院(1933-43、現岩手県立中央病院)	昭和8～18年
23	062	RD903	148	薬瓶	一般用薬瓶	8.5	2.6	3.9	3.4	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	褐色透明、気泡	彫刻底「23(商標)」	三共(1899創業、2007第一三共)「アドリナリン」(副腎髄質ホルモンの1902発売)か	大正～昭和初期
23	063	RD901	091	薬瓶	一般用薬瓶	8.3	1.9	4.1× 2.7	3.8× 2.6	細口	短首	いかり肩	断面楕長八角形	平底	コルク	褐色半透明	彫刻肩「カトウ」「ハウト液」縦、「(KATOマーク)」、側面「50」	カトウ製「ハウト液」(皮膚痒み止め)、50g	昭和20年代か
23	064	RD903	092	薬瓶	一般用薬瓶	7.9	2.4	4.2× 2.5	3.7× 2.1	細口	短首	いかり肩	断面楕長長方形(楕円形風)	平底	コルク	褐色半透明	彫刻肩「オーカン」縦	クミアイ(農家組合員向け家庭薬1919)「オーカン」(皮膚鎮痛薬)	昭和20年代以前
23	065	RD902	096	薬瓶	目薬瓶	6.0	1.5	2.3	2.1	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	無色透明、気泡	彫刻肩「目薬」右読み、「清嶋水」縦、「登録(商標)商標」	不明	明治～大正期か
23	066	RD902	027	薬瓶	目薬瓶	6.0	1.4	2.3	2.1	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	コバルト色透明、気泡	彫刻肩「目薬」右読み、「清嶋水」縦、「登録(商標)商標」	不明	明治～大正期か
23	067	RD905	028	薬瓶	目薬瓶(スポイト一体型)	8.4	1.7	2.8× 2.0	—	細口	短首	いかり肩	断面楕長八角形	スポイト	上部ゴム、スポイト部スクリュー	淡コバルト色透明	彫刻胴縦線、ラベル枠	「ロート目薬」か	昭和初期
23	068	RD902	098	薬瓶	目薬瓶(スポイト一体型)	8.2	1.7	2.8× 2.0	—	細口	短首	いかり肩	断面楕長八角形	スポイト	上部ゴム、スポイト部スクリュー	淡コバルト色透明	彫刻胴縦線、ラベル枠	「ロート目薬」か	昭和初期
23	069	RD905	029	薬瓶	目薬瓶(スポイト一体型)	7.9	1.3	2.6× 1.7	—	細口	短首	いかり肩	断面楕長八角形	スポイト	上部スクリュー、スポイト部スクリュー	淡褐色透明	彫刻胴縦線、ラベル枠、胴上部「B68」	「ロート目薬」か	昭和30年代
24	070	RD902	090	薬瓶	栄養保健剤瓶	20.0	2.6	6.8× 4.7	6.0× 3.9	細口	長首	いかり肩	断面楕長八角形	平底	玉冠	褐色半透明	彫刻胴側面「BLUTOSE」、底「250」	藤澤友吉商店(藤澤薬品工業)「フルトール」(1916発売、補血強壮剤)、250g	昭和10年代か
24	071	RD902	132	薬瓶	栄養保健剤瓶	8.9	1.9	5.7× 3.0	2.7× 1.7	細口	短首	なで肩	立面楕円形、断面楕長楕円形	平底	スクリュー	褐色半透明	プラスチック蓋「Haliva」	田辺元三郎商店「ハリバ」(肝油剤、1933開発)	昭和10年代か
24	072	RD903	161	薬瓶	軟膏瓶	4.9	4.3	4.9	4.1	広口	短首	いかり肩	断面円形、円筒形	平底	スクリュー	褐色不透明、気泡	彫刻底「(マーク)・・・」	ミツワ石鹸(1860-1975)	昭和10年代(戦中)か

第8表 細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(4)

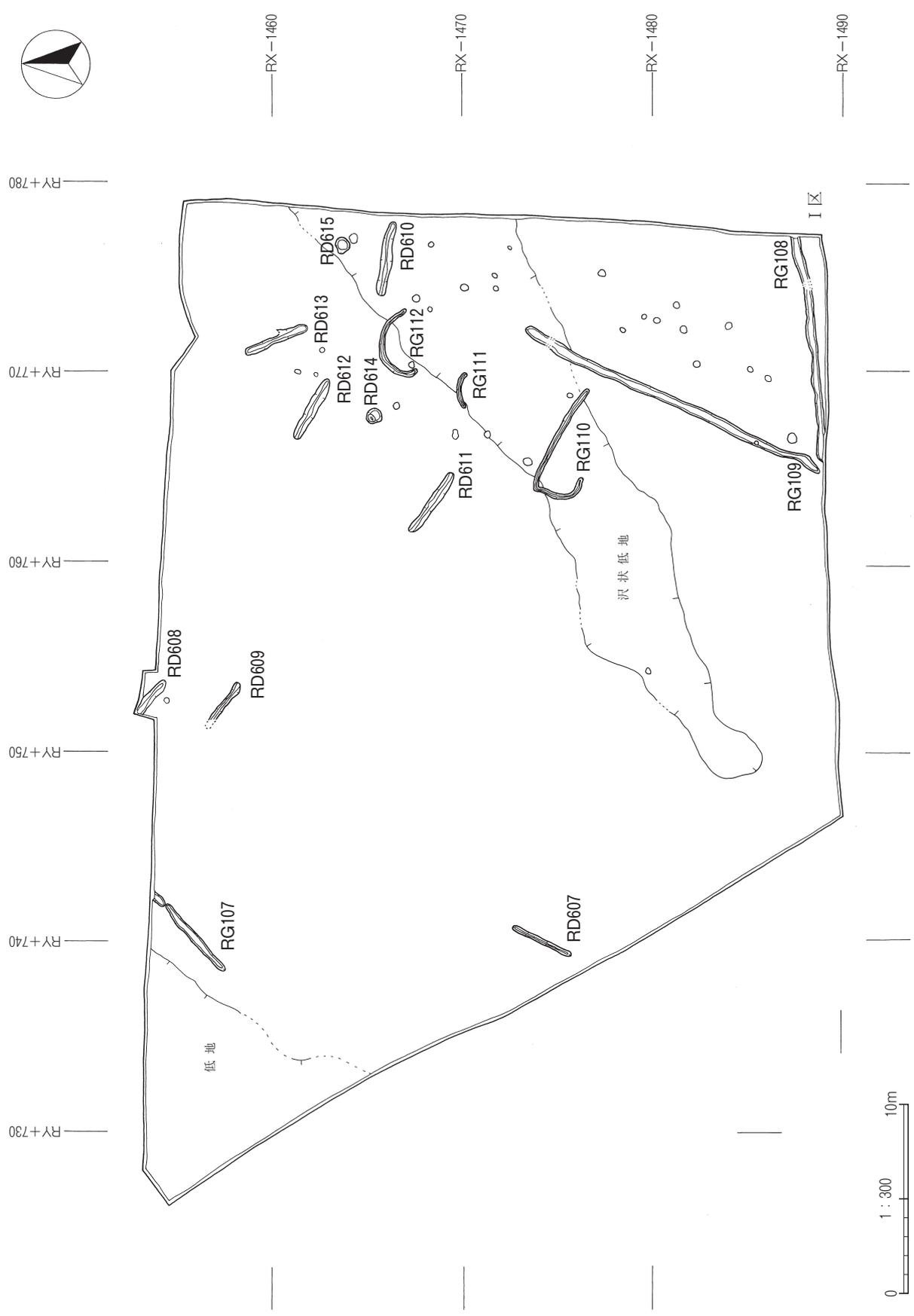
写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態			検種	色調・気泡等	彫刻・印刷等	社名・商品名・製瓶会社等	年代		
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部						胴部	底部
24	073	RD901	100	化粧品	化粧品瓶	10.2	0.5 (1.2)	4.8× 3.1	4.5× 2.9	極細口	短首	なで肩	断面花形楕円形	平底	スクリュエ	無色半透明	彫刻線稿、ラベル枠、彫刻 「ユキワリミン」右読み、底「ユ キワリ」右読み	原沢製薬工業 (1916創業 →「ユキワリミン」(美顔 剤))	昭和20年代か
24	074	RD906	118	化粧品	化粧品瓶	11.3	0.8 (1.4)	5.5× 2.9	4.7× 2.5	極細口	短首	いかり肩	断面横長楕円形	平底	スクリュエ	緑色半透明	彫刻底「花樽商標」	資生堂 (1872創業、商標 「花樽」1915-)	昭和初期か
24	075	RD905	231	化粧品	化粧品瓶	13.1	1.7	6.7× 3.1	5.8× 2.5	細口	短首	いかり肩	断面横長八角形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻底「花樽商標」35」	資生堂 (1872創業、商標 「花樽」1915-)	昭和30年代か
24	076	RD905	102	化粧品	化粧品瓶	11.7	0.6 (1.3)	6.3× 3.4	4.0× 2.5	極細口	短首	いかり肩	断面横長八角形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻底「Y(花樽商標)5」	資生堂 (1872創業、商標 「花樽」1915-)	昭和30年代か
25	077	Ⅲ区	331	化粧品	化粧品瓶	12.5	1.1	5.4× 3.4	4.9× 2.9	極細口	短首	いかり肩	断面側面楕円形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側面線稿、底「Zotos」	資生堂 (1872創業)「ゾー トス化粧品」	昭和20年代か
25	078	RD905	101	化粧品	化粧品瓶	11.6	1.5	5.7× 2.7	5.1× 2.3	細口	短首	いかり肩	断面横長長方形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻ラベル枠、彫刻底「1 (商標)(記号)」	ウテナ (1927創業)、第一 硝子 (1955-)	昭和30年代か
25	079	RD910	277	化粧品	化粧品瓶	10.7	1.0	4.9× 2.6	4.5× 2.2	極細口	短首	いかり肩	断面長方形	平底	スクリュエ	無色透明	側面線稿、彫刻底「POLA K1 28」	ポーラ化粧品本舗 (1946設 立、2007ポーラ)	昭和30年代か
25	080	RD905	032	化粧品	化粧品瓶	13.8	1.9	5.5× 2.8	5.1× 2.8	細口	短首	いかり肩	立面長方形、断面横長楕円形風長方形	平底	スクリュエ	無色透明、フ ロスト加工	彫刻底「KANEBO GINZA TOKYO 18」	カネボウ (1887創業、化粧 品事業1936-)	昭和30年代か
25	081	RD905	103	化粧品	化粧品瓶	12.1	0.6 (1.5)	6.1× 3.2	5.2× 2.7	極細口	短首	いかり肩	断面横長楕円形	平底	スクリュエ	淡ピンク透明	彫刻ラベル枠、彫刻底 「JUJU K 8」	ジュジュ化粧品 (1946創 業)	昭和30年代か
25	082	RD905	104	化粧品	化粧品瓶	12.5	0.6 (1.7)	6.1× 3.0	5.6× 2.4	極細口	短首	いかり肩	断面横長楕円形	平底	スクリュエ	淡ピンク透明	彫刻ラベル枠、彫刻底 「PIAS」AI」	ピエス化粧品 (1947創業-)	昭和30年代か
25	083	RD905	238	化粧品	化粧品瓶	7.9	1.7	2.2× 2.2	3.5× 2.2	細口	短首	いかり肩	立面台形、断面長方形(側面凹み)	平底	スクリュエ	無色透明、フ ロスト加工	印刷刷「KOSE Fon Blyon」、彫刻底「K1 . . .」	コーセー (1948設立-)	昭和30年代か
25	084	RD905	228	化粧品	化粧品瓶	11.9	1.5	7.8	2.8	細口	短首	いかり肩	断面横長楕円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側面線稿・ラベル枠、底 「1」	関西有機化学工業(-1977) 「モナ葉緑素アストリンゼ ント」	昭和52年以前
26	085	RD903	156	化粧品	化粧品瓶	13.5	0.8	5.3× 3.1	5.0× 2.9	極細口	短首	なで肩	断面横長楕円形	平底	スクリュエ	緑色透明	彫刻底「. . .」	不明	昭和初期か
26	086	RD905	233	化粧品	化粧品瓶	13.4	0.5 (1.5)	4.8× 3.3	4.1× 2.8	極細口	短首	いかり肩	断面長方形	平底	スクリュエ	淡コバルト透 明	彫刻底「K1」	不明	昭和初期か
26	087	RD912	302	化粧品	化粧品瓶	7.9	0.7 (1.9)	6.2× 3.2	5.2× 2.8	極細口	短首	いかり肩	断面長方形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻プラスチック蓋 「PAPILIO」、彫刻側面 「PAPILIO LABORATOIRE CHIMI-QUE」	伊東胡蝶園 (1904創業、 1935パピリオブランド開 始)	昭和10年以降
26	088	RD905	242	化粧品	精油瓶	9.8	0.9 (1.5)	5.8	4.6	極細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明、気 泡	彫刻ラベル枠、[72cc]「大 島精油協同組合制定場 株式 会社 大島精油所謹製」、底 「(楕円マーク)」	大島精油所 (1927創業-)	昭和20年代以降
26	089	RD905	241	化粧品	精油瓶	8.5	0.9 (1.5)	5.3	4.2	極細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻ラベル枠、[54cc]「大 島精油協同組合制定場 株式 会社 大島精油所謹製」、底 「(楕円マーク)」	大島精油所 (1927創業-)	昭和20年代以降
26	090	RD905	243	化粧品	精油瓶	9.8	0.9 (1.5)	5.8	4.6	極細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側「(楕円マーク) 大島精 油」、底「(楕円マーク)」	大島精油所 (1927創業-)	昭和20年代以降
26	091	RD905	244	化粧品	精油瓶	9.8	0.9 (1.5)	5.8	4.6	極細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側「(楕円マーク) 大島精 油」、底「(楕円マーク)」	大島精油所 (1927創業-)	昭和20年代以降
26	092	RD905	240	化粧品	精油瓶	12.6	0.7 (1.5)	6.0	5.0	極細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	側面線稿、彫刻ラベル枠、 側面彫刻「ビスター」、底花弁 状模様、ラベル「ビスター 精 油」	ビスター化粧品前田商事 (1958創業)	昭和33年以降
27	093	RD905	246	化粧品	精油瓶	11.8	0.7 (1.6)	5.7	4.7	極細口	短首	なで肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側下「本島精」	本島精 (1910創業-)	昭和20年代か
27	094	RD905	245	化粧品	精油瓶	9.9	0.7 (1.6)	4.6	3.7	極細口	短首	なで肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側下「本島精」	本島精 (1910創業-)	昭和20年代か
27	095	RD904	167	化粧品	精油瓶	9.9	0.7 (1.6)	4.6	3.7	極細口	短首	なで肩	断面円形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側下「本島精」	本島精 (1910創業-)	昭和20年代か
27	096	RD905	099	化粧品	整髪料瓶	10.8	0.3 (1.5)	5.5× 2.4	5.0× 2.0	極細口	短首	いかり肩	断面横長八角形	平底	スクリュエ	褐色半透明	彫刻側「Kaminomoto」、ラベ ル枠、側下市松模様、底「2 5」	加美乃素本舗 (1908創業-) 「加美乃素」(養毛剤1932発 売)	昭和初期以降
27	097	RD905	230	化粧品	整髪料瓶	13.5	0.7 (1.4)	6.6× 2.9	5.1× 2.3	極細口	短首	いかり肩	断面横長八角形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側ラベル枠、底「ミスター ヤ H」、ラベル「Miss Dahila HAIR TONIC」	ミスダリヤ (1950創業、ダ リヤ1968-)「ヘトニック」	昭和30年代か
27	098	RD905	229	化粧品	整髪料瓶	12.2	1.8	5.1× 2.5	5.1× 2.1	細口	短首	いかり肩	断面横長六角形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側ラベル枠、線稿、彫刻側 下「NEOPOAN」	黒ばら本舗 (1923創業-) 「ネオポアン」ヘアクリー ム (1953発売)	昭和28年以降
27	099	RD905	249	化粧品	整髪料瓶	7.4	0.7 (1.3)	5.9× 2.6	5.3× 2.5	極細口	短首	いかり肩	立面正形、断面長方形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側下「Kuro Bara」	黒ばら本舗(1962-)	昭和37年以降
27	100	RD905	247	化粧品	整髪料瓶	9.7	0.7 (1.5)	4.9× 2.5	4.4× 2.0	極細口	短首	いかり肩	立面縦長長方形、断面長方形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側ラベル枠、彫刻側下 「Utatabaki」	うたば (1956-、1962黒ば ら本舗-)	昭和31~37年
27	101	RD905	248	化粧品	整髪料瓶	7.9	0.7 (1.5)	8.4× 2.6	4.8× 1.7	極細口	短首	なで肩	立面横長楕円形、断面長方形(楕円形風)	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻ラベル枠、側下 「Utatabaki」、底「F1」	うたば (1956-、1962黒ば ら本舗-)	昭和31~37年
27	102	RD903	151	化粧品	整髪料瓶	6.9	1.4	6.1	5.2	細口	短首	なで肩	断面六角形	平底	スクリュエ	無色透明	彫刻側ラベル枠、底「ゴコー」	昇英堂 (京都)「ゴコー黒 精」(頭髪香水、整髪料)	昭和10年代

第9表 細谷地遺跡第37次調査出土近現代ガラス瓶観察表(5)

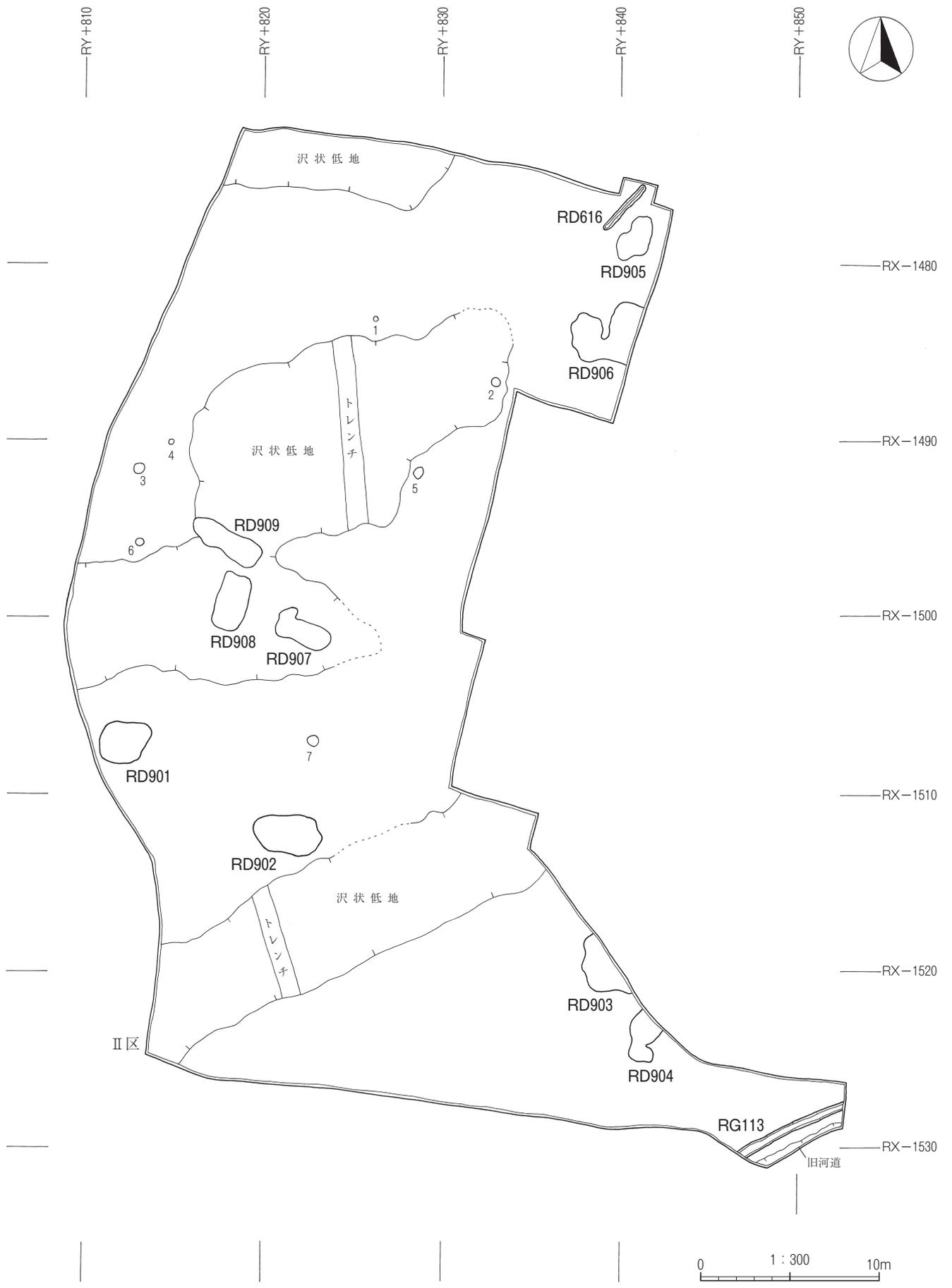
写真 図版	番号	遺構名	台帳 No.	分類		寸法 (cm)				形態				検種	色調・気泡等	彫刻、印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代		
				用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部						底部	
28	103	RD912	308	化粧瓶	化粧クリーム瓶	5.5	3.6	5.0	3.5	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻彫刻線・ラベル枠、底「LAIT CRÈME★」[1]	平尾賢平商店(1878-1954)「レートクリーム」(1909発売)	大正～昭和初期	
28	104	RD903	162	化粧瓶	化粧クリーム瓶	4.4	3.8	4.7	4.2	広口	短首	いかり肩	断面円形、円筒形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻彫刻線・ラベル枠、底「m」	平尾賢平商店(1878-1954)「レートクリーム」(1909発売)、「レートメリー」(1918発売)	大正～昭和初期	
28	105	RD905	030	化粧瓶	化粧クリーム瓶	5.3	3.9	5.5	3.6	広口	短首	いかり肩	立面背低口広がり円筒形、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻底「(商標) Y8」	養生堂(1872創業、商標「花標」1915-)	昭和30年代	
28	106	RD903	031	化粧瓶	化粧クリーム瓶	5.1	3.9	5.1	3.9	広口	短首	いかり肩	立面背低口広がり円筒形、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻底「(商標)」	花王(1887創業、商標「月のマーク」1890-、4代目下坂の月老人顔1925-43)	大正14～昭和18年	
28	107	RD905	214	化粧瓶	化粧クリーム瓶	6.0	3.6	5.1	3.6	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	高台付	スクリュー	白色不透明	彫刻彫ラベル枠、彫刻底「M」、プラスチック蓋「(商標)」、ラベル「UTENA VANISHING CREAM」	ウテナ(1927創業)「ウテナミニシニングクリーム」(1927発売)	昭和30年代	
28	108	RD905	109	化粧瓶	化粧クリーム瓶	3.9	5.3	6.1	3.2	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	平底	スクリュー	乳白色半透明	彫刻彫ラベル枠、彫刻底「(商標)」	ウテナ(1927創業)「ウテナミルククリーム」(1952発売)	昭和27年以降	
28	109	RD905	212	化粧瓶	化粧クリーム瓶	4.1	4.9	5.8	3.6	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	高台付	スクリュー	乳白色半透明	彫刻彫ラベル枠、彫刻底「JUJU A12」	ジュジュ化粧品(1946創業)	昭和30年代	
28	110	RD905	206	化粧瓶	化粧クリーム瓶	3.6	4.4	5.9	4.0	広口	短首	いかり肩	扁平瓶形、断面円形	高台付	スクリュー	乳白色半透明	彫刻彫線・ラベル枠、底「PICASSO 四つ葉マーク」	ピカソ美化学研究所(1935創業)	昭和30年代	
28	111	RD905	107	化粧瓶	化粧クリーム瓶	4.3	5.0	5.8	4.9	広口	短首	いかり肩	円筒状、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻底「KANEBO 1」	カネボウ(1887創業、化粧品事業1936-)	昭和30年代	
28	112	RD904	168	化粧瓶	ポマード瓶	4.9	5.1	5.6	3.7	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻彫ラベル枠、彫刻底「(商標) (源氏香園文) S」	柳屋(1615創業、柳屋本店1948-)	昭和23年以降	
29	113	RD905	106	化粧瓶	ポマード瓶	6.2	6.2	6.9	4.5	広口	短首	いかり肩	口広がり円筒状、断面円形	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻彫ラベル枠、彫刻底「(商標) (源氏香園文) N 20」	柳屋(1615創業、柳屋本店1948-)	昭和23年以降	
29	114	RD902	105	化粧瓶	ポマード瓶	5.1	4.9	5.9	5.2	広口	短首	いかり肩	円筒状、断面八角形(円形風)	平底	スクリュー	白色不透明	彫刻彫刻線・底「メヌマボヤード」右読み	井田京栄堂(1910創業、メヌマ1948-)「メヌマボヤード」(1917発売)	昭和10年頃	
29	115	RD905	252	化粧瓶	ポマード瓶	4.7	5.4	6.4	6.0	広口	短首	いかり肩	断面円形、円筒形	脚付	スクリュー	無色透明	彫刻彫星列線・ラベル枠、彫刻底「N11-5」	不明	不明	昭和30年代
写真 図版		番号	遺構名	台帳 No.	用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部	底部	検種	色調・気泡等	彫刻、印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代
29	116	RD905	255	文具瓶	インク瓶	6.3	2.8	5.5	5.1	やや広口	短首	なで肩	断面円形	平底	コルク	淡緑色透明、気泡	彫刻底「(SIMCOマーク)」	権崎インキ製造(1884創業-)「ライティンキ」	昭和初期	
29	117	RD905	254	文具瓶	インク瓶	6.7	3.0	5.6	4.9	やや広口	短首	なで肩	断面円形	平底	コルク	無色透明、気泡	彫刻底「KUMIAI INK」	不明	昭和初期	
29	118	RD902	139	文具瓶	インク瓶	7.0	3.1	5.7	5.2	やや広口	短首	なで肩	断面円形	平底	コルク	無色透明	彫刻肩「2oz」、底「15」	不明	昭和初期	
29	119	RD902	116	文具瓶	インク瓶	3.4	1.9	3.3	3.1	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	コルク	無色透明、気泡	ラベル「萬年筆用 メーゼンインキ」右読み、「UCHIYAMA & Co.」	「メーゼンインキ」(内山商會)	大正～昭和初期	
29	120	RD905	259	文具瓶	インク瓶	5.5	2.0	3.6	3.1	やや広口	短首	いかり肩	断面方形、台形柱	平底	スクリュー、プラスチック蓋	無色透明	彫刻肩「30cc PILOT MADE IN JAPAN」、底「(記号) 4」、角形瓶(1951発売)	パイロット(1918創業-)、石塚硝子製瓶	昭和26年以降	
写真 図版		番号	遺構名	台帳 No.	用途	細分	全高	口径	肩幅	底面	口部	首部	肩部	胴部	底部	検種	色調・気泡等	彫刻、印刷等	社名、商品名、製瓶会社等	年代
29	121	RD911	326	日常生活瓶	靴墨瓶	(3.5)	(5.5)	5.5	5.6	広口	短首	いかり肩	断面円形、円筒形	平底	スクリュー、蓋残存	無色透明	彫刻肩「コロップス★」、底「12 (マルT記号)」	コロップス(1948設立-)	昭和23年以降	
30	122	RD902	129	日常生活瓶	白髪染瓶	7.2	1.5	2.8	2.3	細口	短首	なで肩	断面円形	平底	コルク	褐色半透明	彫刻肩「わかやなぎ」縦、「(記号) 右読み、底「20」	女神印	昭和初期	
30	123	RD905	202	日常生活瓶	染料瓶	4.7	1.7	2.7	2.3	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュー	褐色半透明	彫刻底「白元」縦	蛍光染料「白元」(1953発売)	昭和28年以降	
30	124	RD905	201	日常生活瓶	染料瓶	4.9	1.8	2.7	2.3	細口	短首	いかり肩	断面円形	平底	スクリュー	褐色半透明	彫刻底「白元」縦	蛍光染料「白元」(1953発売)	昭和28年以降	
30	125	RD903	111	日常生活瓶	染料瓶	4.4	1.9	2.5	2.4	細口	長首	いかり肩	断面円形	平底	コルクまたは紙封	無色透明、気泡	彫刻肩「谷利」縦、底「(商標?)」	不明	大正期	
30	126	RD905	199	日常生活瓶	食紅瓶	4.7	1.5	2.6	2.5	細口	短首	いかり肩	断面長方形	平底	コルク	淡緑色透明、気泡	彫刻肩下「スカ川」「ベニヤ」	紅屋食品色素(1948設立、1964紅屋食品工業)「牡丹印 食料紅」	昭和23年以降	
30	127	RD905	113	日常生活瓶	食紅瓶	5.1	1.2	2.2	2.1	細口	長首	なで肩	断面円形	平底	スクリュー	無色透明、気泡	緑色プラスチックキャップ「紅屋」	紅屋食品色素(1948設立、1964紅屋食品工業)、食紅瓶(1974製造中止)	昭和30～40年代	
30	128	RD905	112	日常生活瓶	食紅瓶	5.1	1.2	2.2	2.1	細口	長首	なで肩	断面円形	平底	スクリュー	無色透明、気泡	黄色プラスチックキャップ「紅屋」	紅屋食品色素(1948設立、1964紅屋食品工業)、食紅瓶(1974製造中止)	昭和30～40年代	



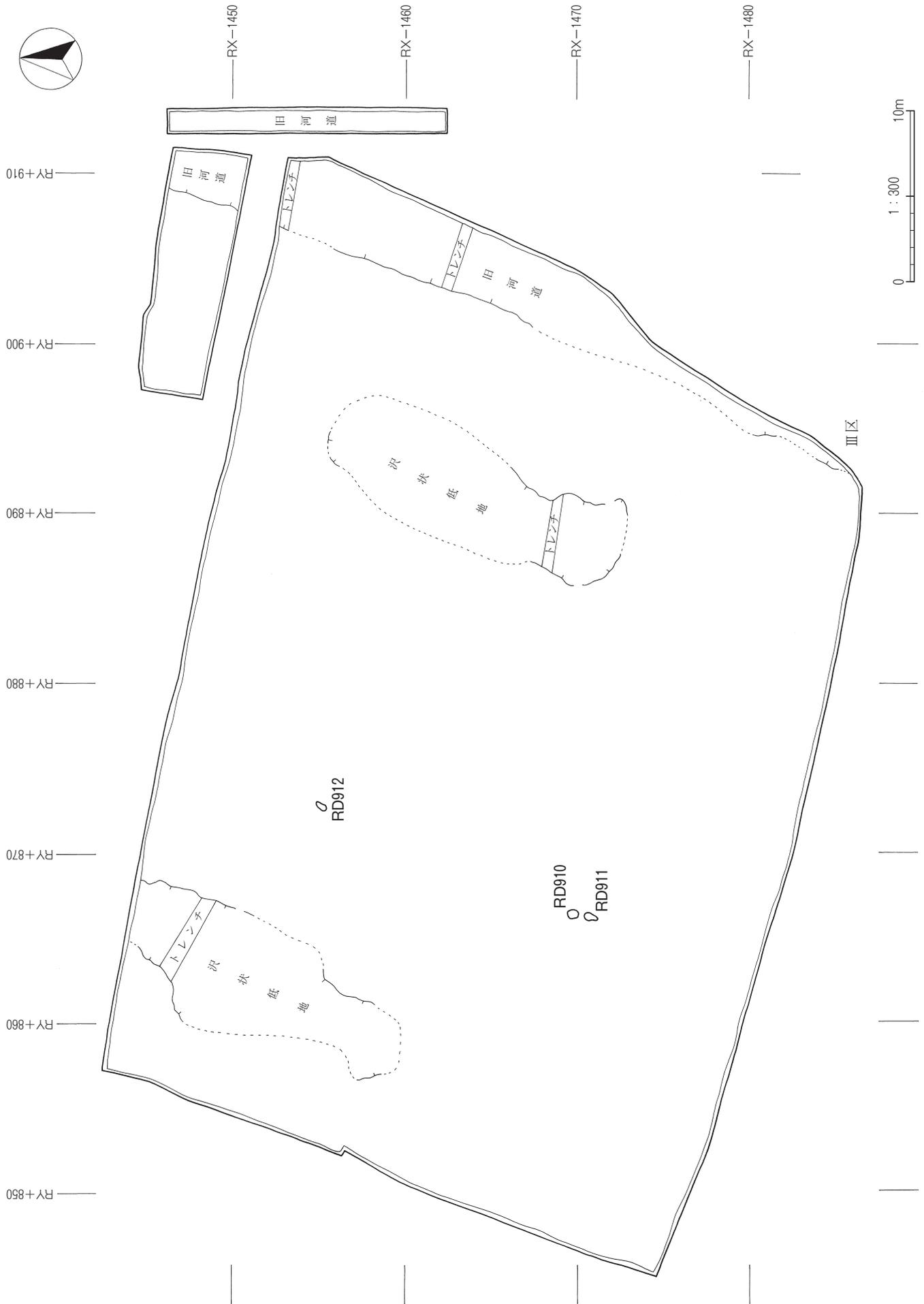
第1図 細谷地遺跡南東部（道明地区）全体図



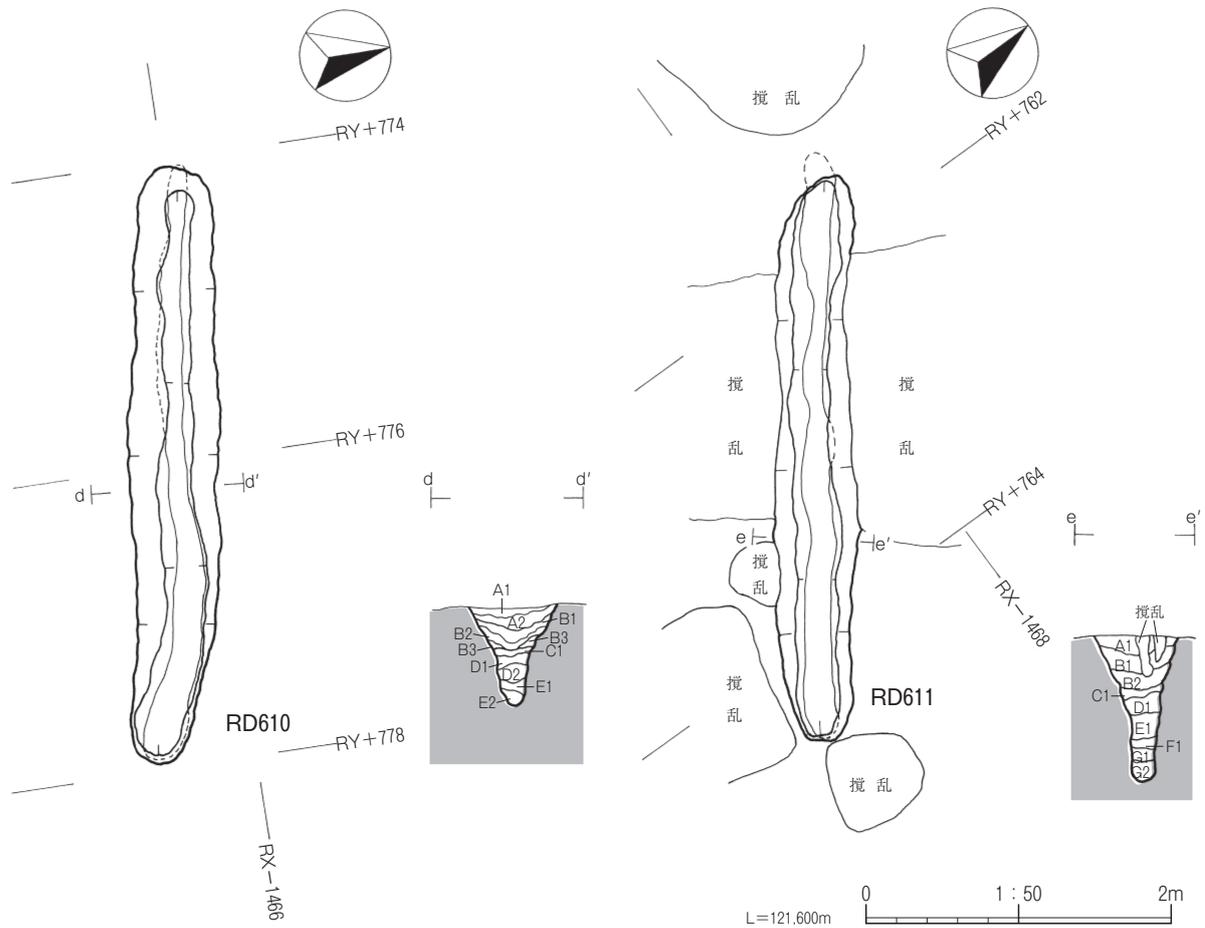
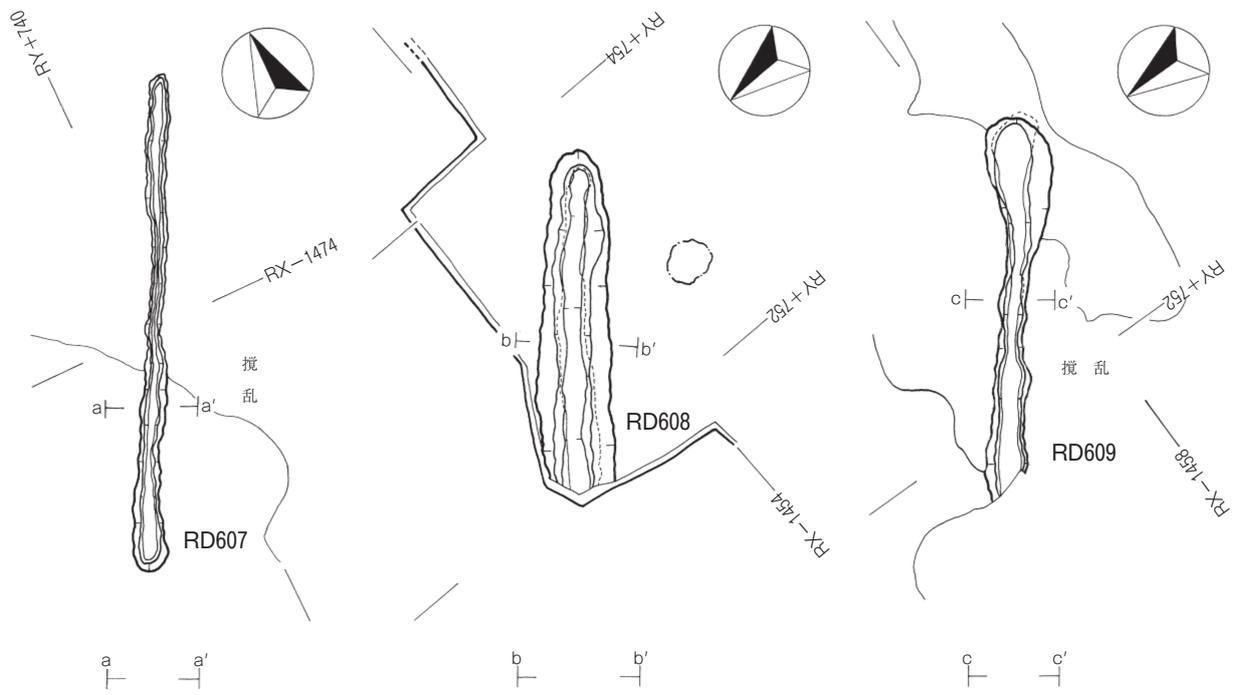
第2図 細谷地遺跡第37次調査I区全体図



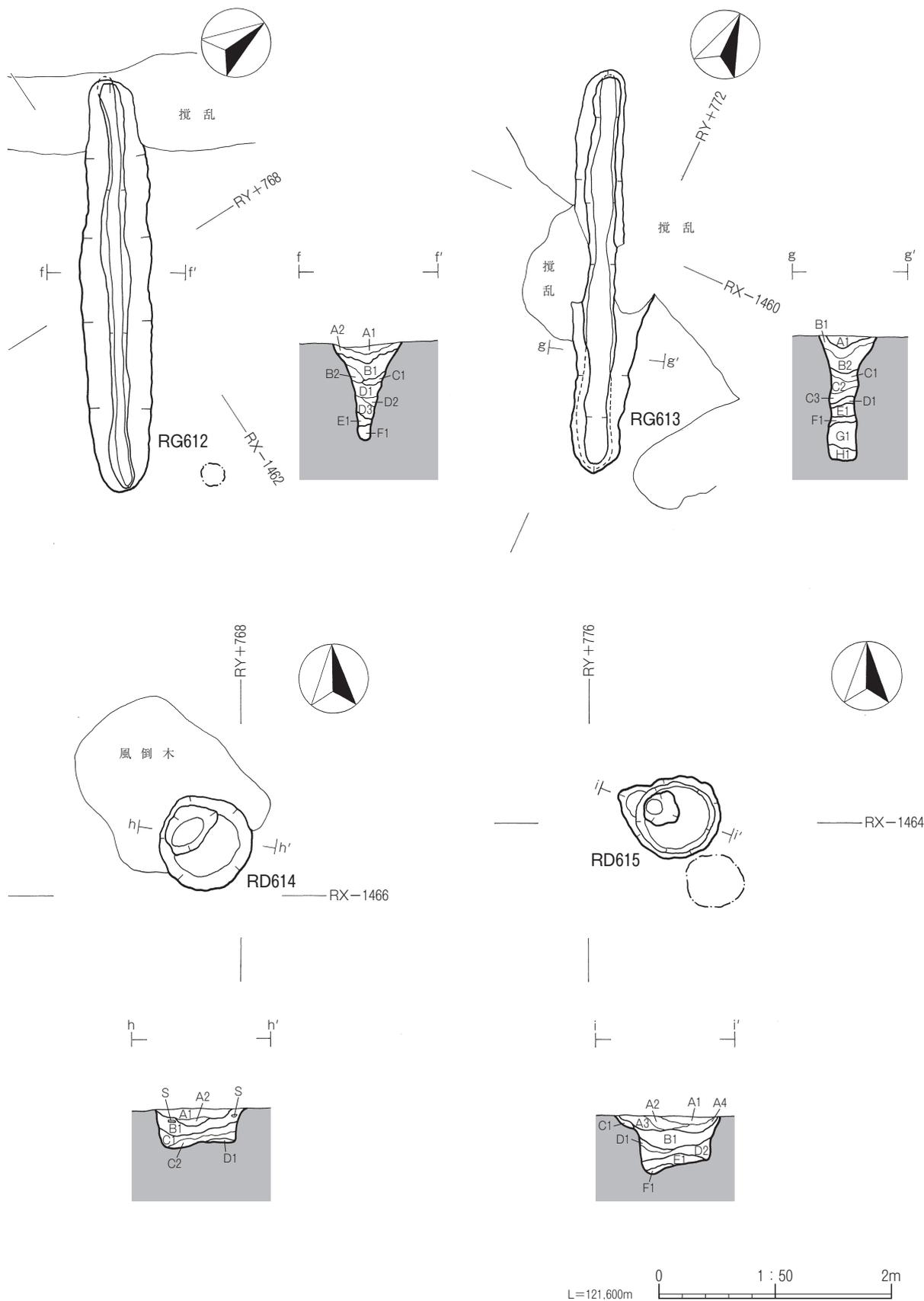
第3図 細谷地遺跡第37次調査II区全体図



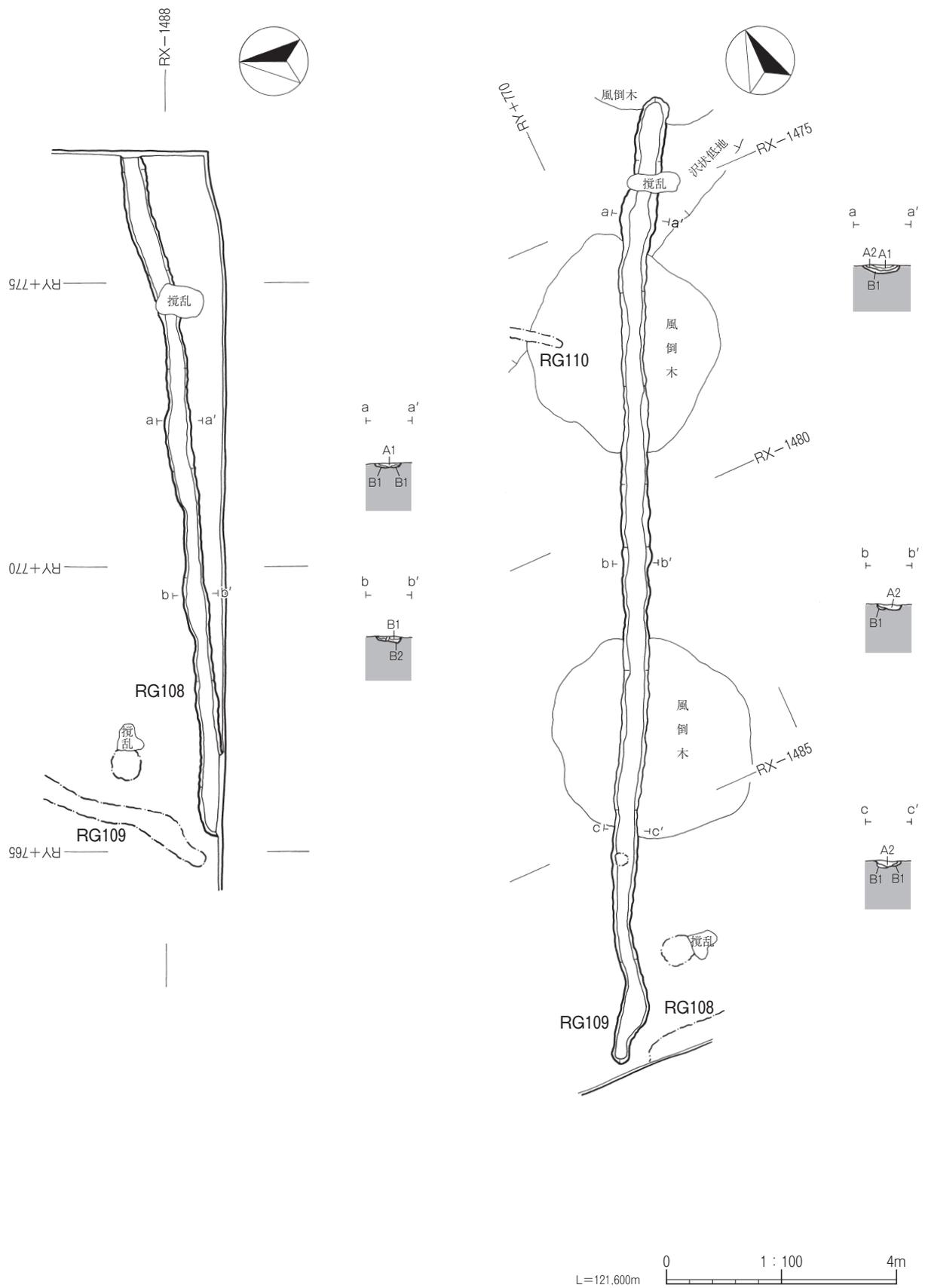
第4図 細谷地遺跡第37次調査Ⅲ区全体図



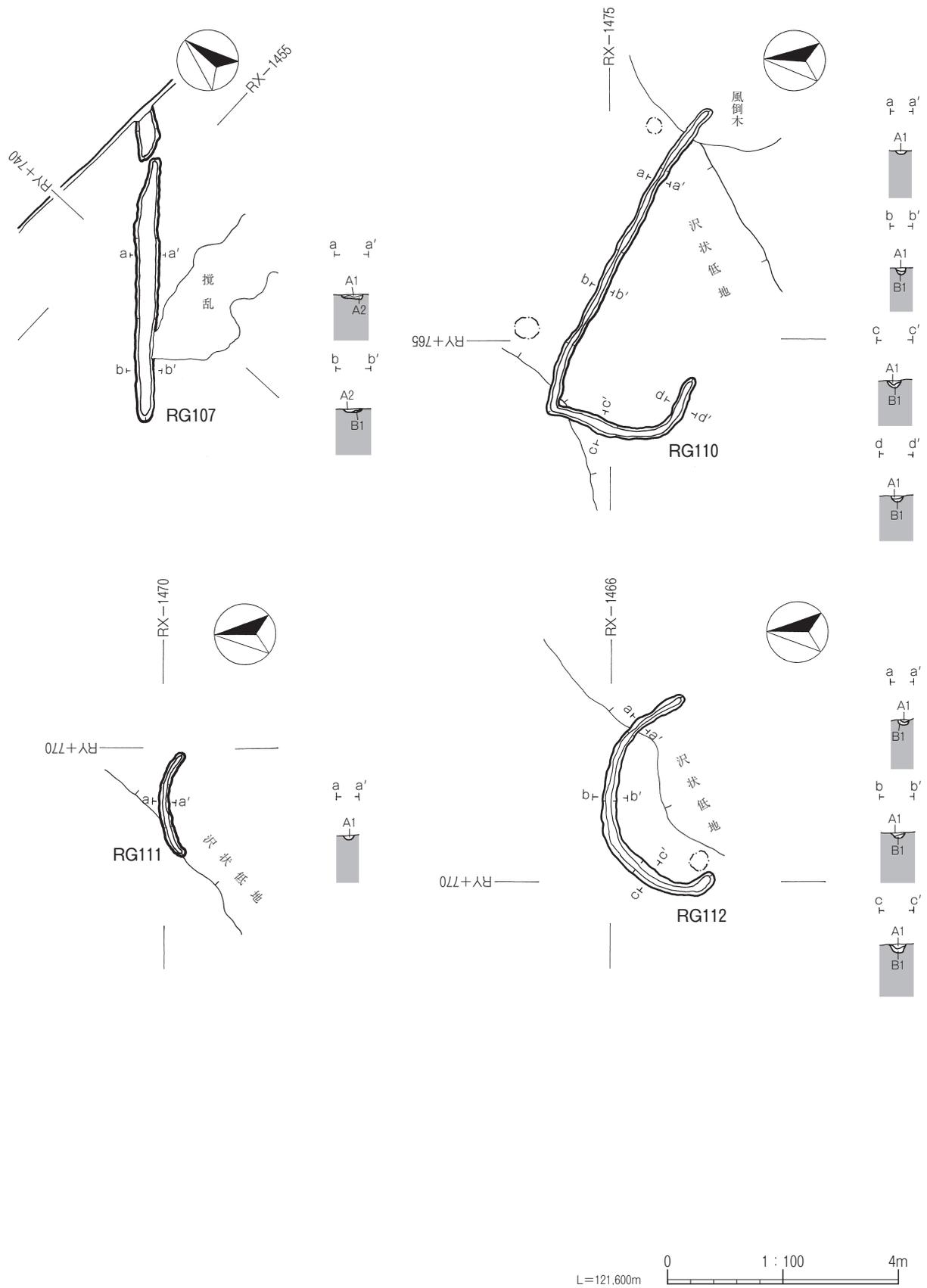
第5図 細谷地遺跡第37次調査I区RD607~611陥し穴



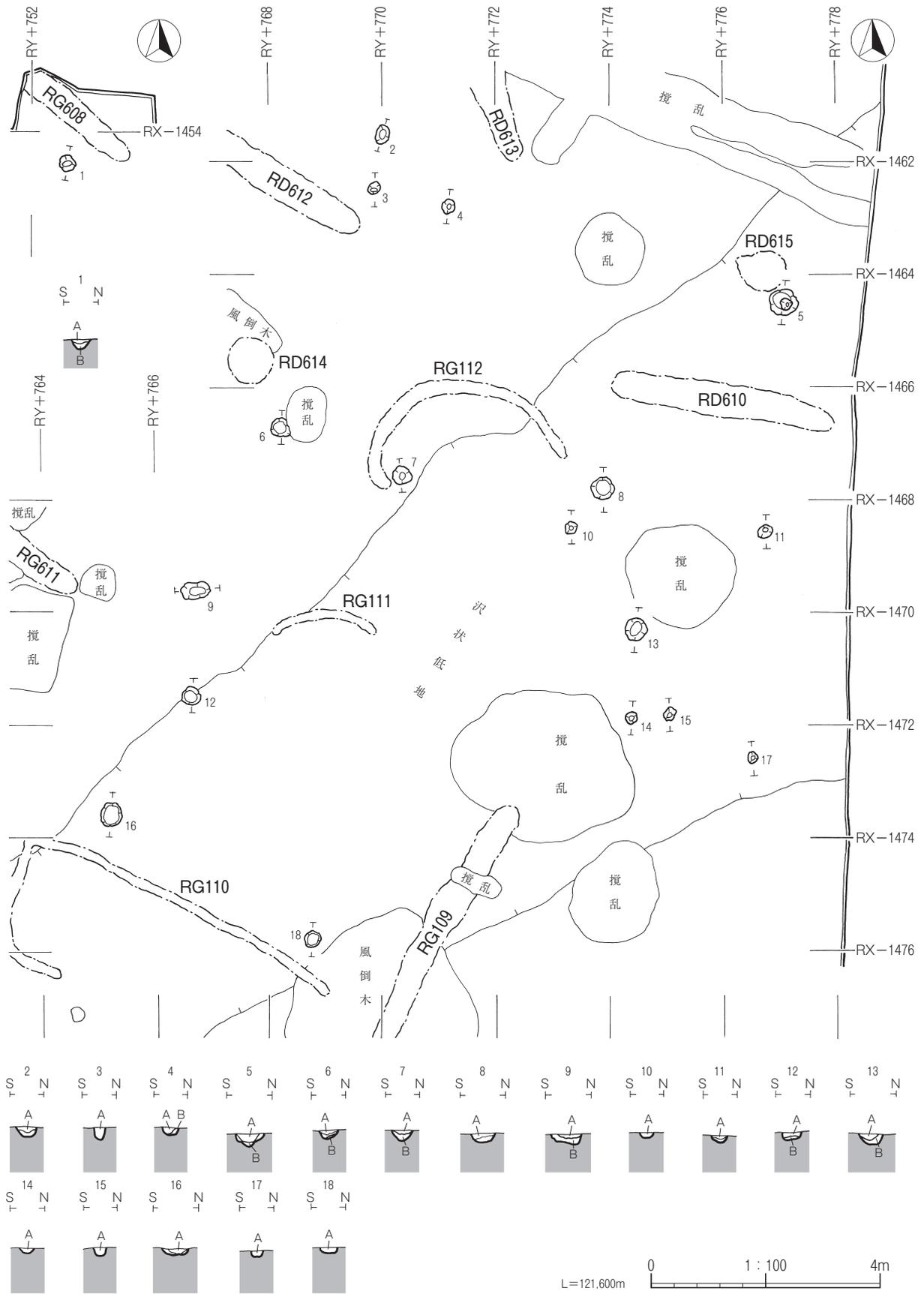
第6図 細谷地遺跡第37次調査I区 RD612・613 陥し穴, RD614・615 土坑



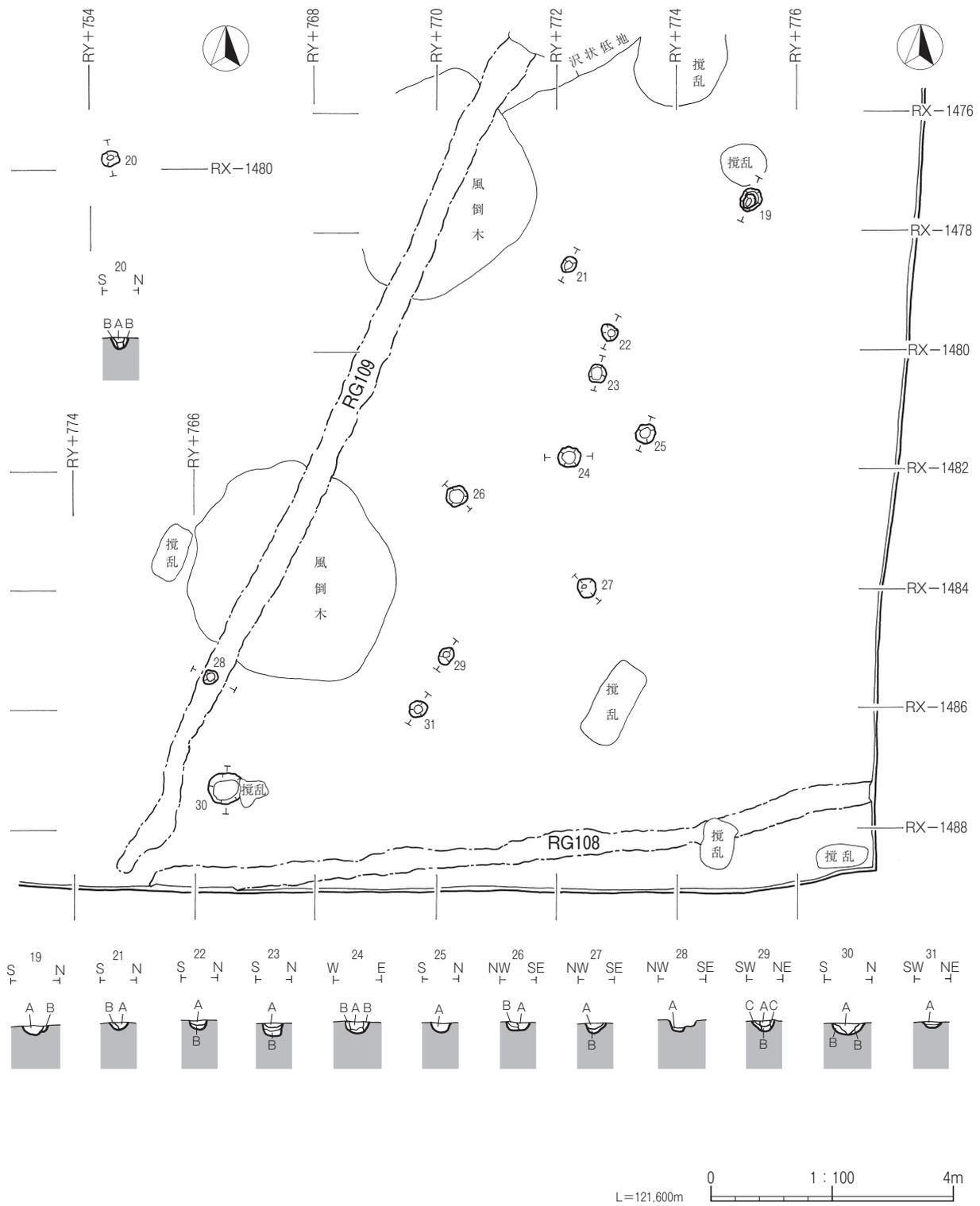
第7図 細谷地遺跡第37次調査I区RG108・109溝跡



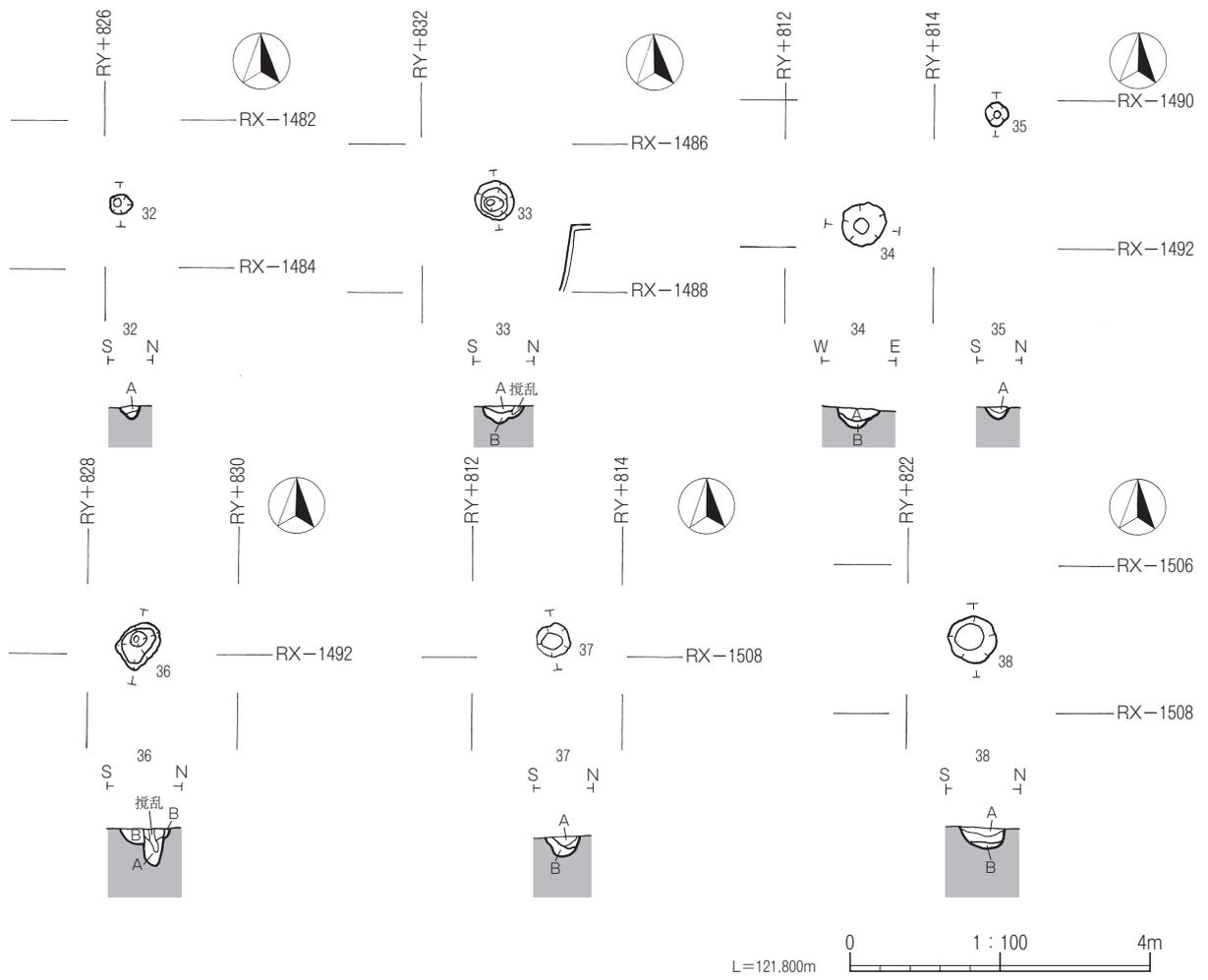
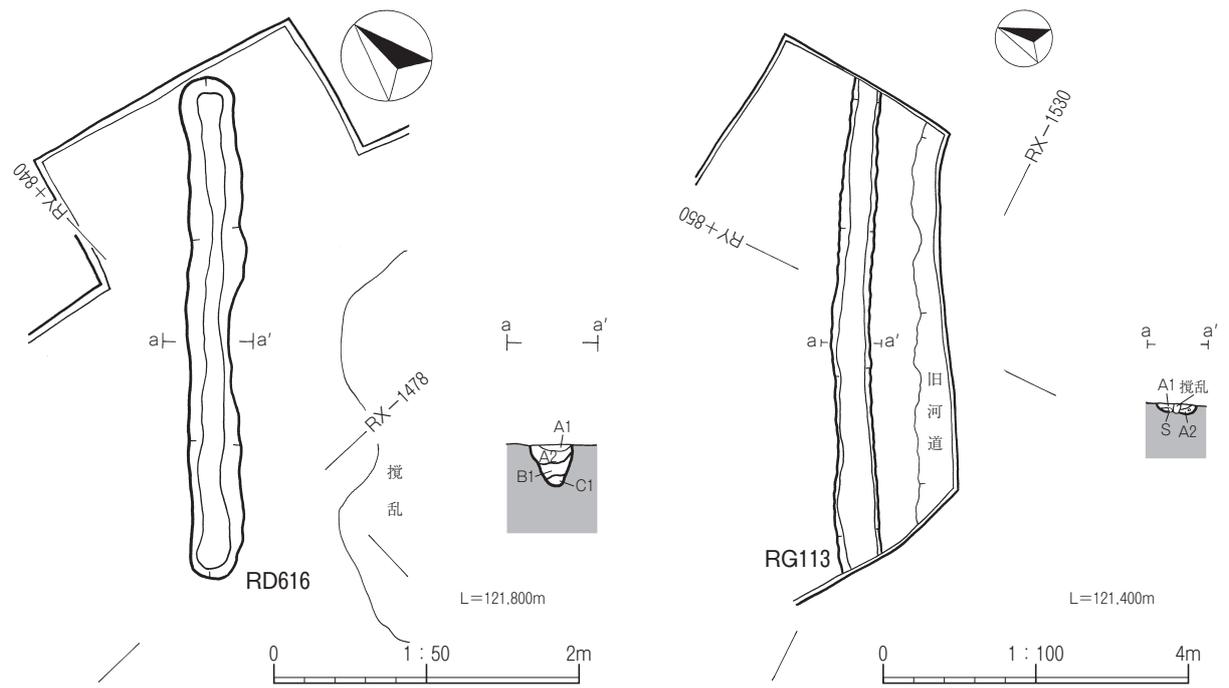
第 8 図 細谷地遺跡第 37 次調査 I 区 RG107・110～112 溝跡



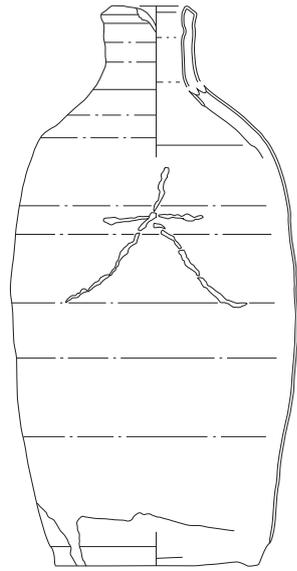
第9図 細谷地遺跡第37次調査I区ピット(1)



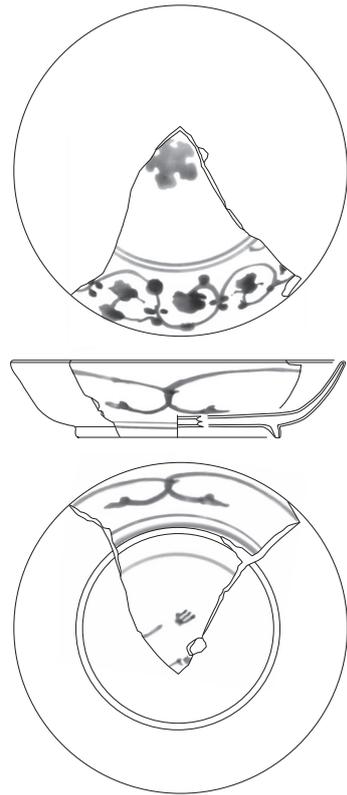
第10図 細谷地遺跡第37次調査I区ピット(2)



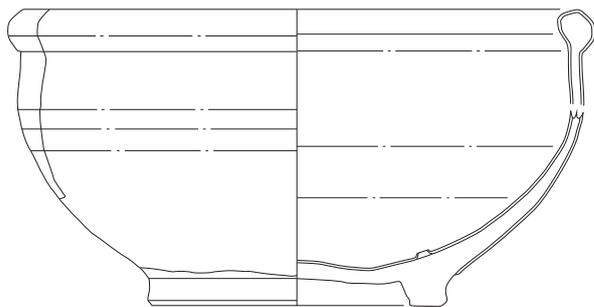
第 11 図 細谷地遺跡第 37 次調査Ⅱ区 RD616 陥し穴, RG113 溝跡, ピット



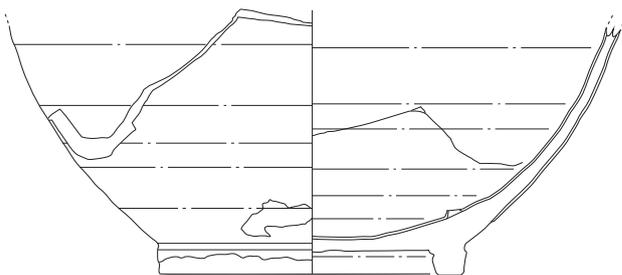
1 瀬戸・美濃灰釉德利—RD905



4 肥前染付皿—RD912



2 瀬戸・美濃灰釉鉢—RD904



3 寺町焼灰釉鉢—RD902



第 12 図 細谷地遺跡第 37 次調査出土近世陶磁器

# 写 真 图 版





盛岡南都市土地区画整理事業区域(黄色)・道明地区土地区画整理事業変更前区域(右下白線)〔平成24年撮影〕



道明地区土地区画整理事業変更後区域(赤線)

第1図版 盛南開発地区航空写真



第 37 次調査 I ・ II 区全景（南西から）

第 2 図版 細谷地遺跡第 37 次調査（1）



第37次調査Ⅰ区全景（南東から）



第37次調査Ⅰ区全景（北東から）

第3図版 細谷地遺跡第37次調査（2）



第 37 次調査Ⅱ区全景（北から）



第 37 次調査Ⅱ区全景（西から）

第 4 図版 細谷地遺跡第 37 次調査 (3)



第 37 次調査Ⅲ区全景（南東から）



第 37 次調査Ⅲ区全景（北西から）

第 5 図版 細谷地遺跡第 37 次調査（4）



RD607 陥し穴・土層断面



RD608 陥し穴・土層断面



RD609 陥し穴・土層断面



RD610 陥し穴・土層断面



RD611 陥し穴・土層断面



RD612 陥し穴・土層断面



RD613 陥し穴・土層断面



RD616 陥し穴・土層断面



RD614 土坑・土層断面



RD615 土坑・土層断面





RG107 溝跡 (南西から)



RG108 溝跡 (東から)



RG109 溝跡 (北東から)



RG110 溝跡 (南東から)



RG111 溝跡 (東から)



RG112 溝跡 (東から)



調査風景



RG113 溝跡 (南西から)



RG113 土層断面



RG113 灰白色テフラ検出状況



近現代廃棄土坑 (RD901・902・905)





肥前染付輪花皿-RD901



肥前染付, 寺町焼, 大堀相馬



瀬戸・美濃灰釉德利-RD905



瀬戸・美濃灰釉鉢-RD904



寺町焼灰釉鉢-RD902

〔01 酒瓶〕



高さ29.0cm

001 (No.001)ビール瓶(大日本麦酒) - RD902

タカラビール TAKARA BEER

㊗ 334ml



5cm

TRADE MARK  
DAINIPPON BREWERY CO. LTD



5cm



高さ24.1cm

002 (No.035)ビール瓶「タカラビール」(宝酒造) - RD905



高さ17.2cm

NO DEPOSIT NO RETURN NOT TO BE REFILLED



5cm

003 (No.271)ビール瓶(アメリカ製) - III区



高さ17.2cm

NOT TO BE REFILLED NO DEPOSIT NO RETURN



5cm

004 (No.299)ビール瓶(アメリカ製) - RD912



高さ19.1cm

NOT TO BE REFILLED NO DEPOSIT \* NO RETURN

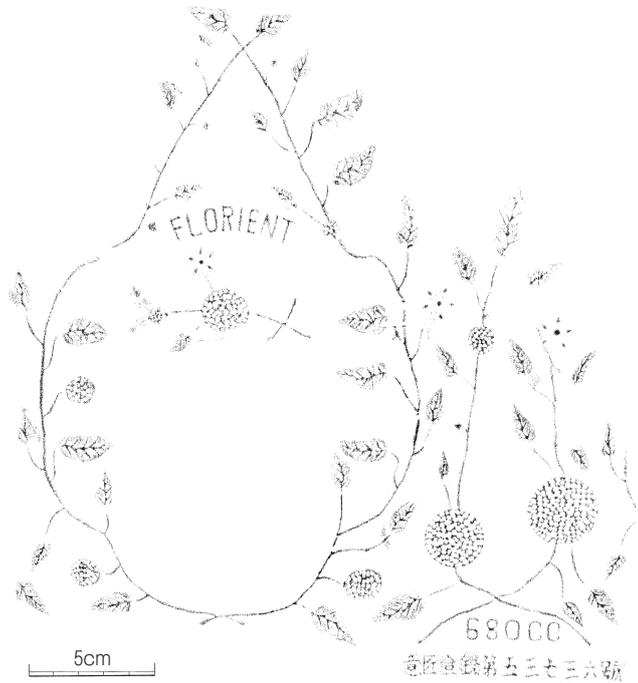


5cm

005 (No.300)ビール瓶(アメリカ製) - RD912

第 11 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶 (1)

〔01 酒瓶〕



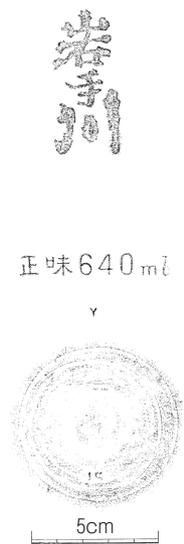
高さ34.8cm

006(No.033)ワイン瓶「FLORIENT」－RD902



高さ25.1cm

007(No.004)ワイン瓶「林檎シャンパン  
ポンパン」(寿屋)－RD902



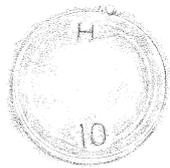
高さ28.7cm

008(No.040)日本酒瓶「岩手川」－RD911

〔01 酒瓶〕



寶酒造株式會社 TAKARA  
 正味 640cc 詰



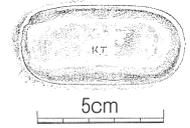
5cm

高さ28.6cm

009 (No.037) 日本酒瓶 (宝酒造) - RD912



DAIKOKU BUDOSHU



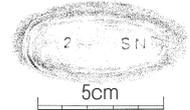
高さ15.2cm

010 (No.044) ウィスキー瓶 (大黒葡萄酒「オーシャンウィスキー」) - RD912



*Nikka*

® 180ml



高さ15.2cm

011 (No.045) ウィスキー瓶 (ニッカウキスキー) - RD905

〔02 清涼飲料瓶〕



KINSEN KINSEN KINSEN

造製社會式標料飲線金



5cm

高さ23.4cm

高さ22.6cm

012 (No.328) サイダー瓶 (金線飲料) - III区

◎ 造製社會式標酒麥水日大



5cm



013 (No.041) サイダー瓶 (大日本麦酒) - RD911

〔02 清涼飲料瓶〕



高さ24.5cm



高さ23.4cm



高さ23.4cm

社 会 式 株 会 社 日 本 麦 酒 釀 造 有 限 公 司

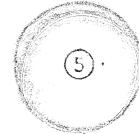
015(No.006)サイダー瓶  
(日本麦酒釀造)－RD902



5cm

014(No.005)サイダー瓶(日本麦酒釀造)－RD902

ASAHI BREWERIES, LTD.

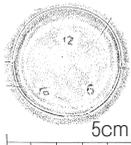


5cm

016(No.042)サイダー瓶(朝日麦酒)－RD911



Fresh  
Drinks



5cm

高さ21.7cm

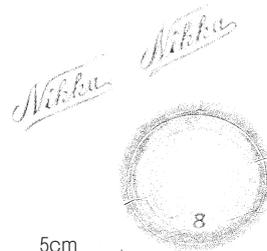
017(No.043)ジュース瓶  
「Fresh Drinks」－RD905



5cm

高さ24.2cm

018(No.003)ジュース瓶(ニッカ)－RD902



高さ15.6cm



"KORin"

KOTOBUKIYA LTD TOKYO AND OSAKA

5cm

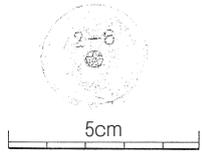
019(No.046)ジュース瓶(濃縮果汁)  
「林檎汁 コーリン」(寿屋)－RD902

第 14 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶 (4)

〔02 清涼飲料瓶〕



高さ6.6cm



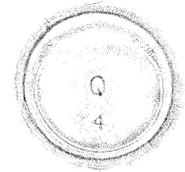
020(No.067)乳性飲料瓶「クレフ  
カーラ60」(三河カーラ)－Ⅲ区



高さ28.8cm



スヒルカ



021(No.002)乳性飲料瓶「カルピス」(ラクター)－RD902

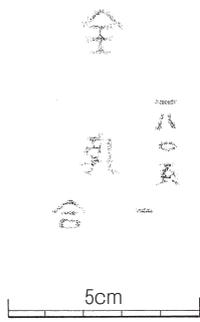


022(No.316)ニッキ水瓶－RD903

〔03 乳製品瓶〕



高さ19.4cm



023(No.007)牛乳瓶「全乳 一八〇瓦」－RD902



高さ19.6cm



024(No.008)牛乳瓶「大清水小路中村ミルクプラント」  
「全乳 一、八八」－RD902

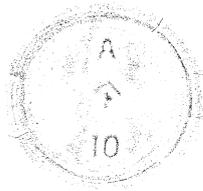
(03 乳製品瓶)



高さ17.1cm

高温  
殺菌  
全乳

正味180cc



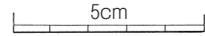
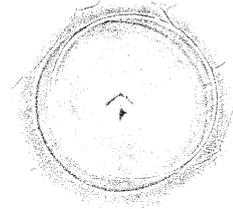
025(No.009)牛乳瓶「高温殺菌 全乳」  
「正味180cc」- RD902



岩手牛乳

新製六巴六番

一八八



高さ13.5cm

027(No.010)牛乳瓶「岩手牛乳」  
「一、八八」- RD903



高さ18.5cm

守山牛乳  
PAT. NO 410688 9



026(No.047)牛乳瓶「守山牛乳」(守山商会)- RD912



高さ13.9cm



高さ14.1cm

028(No.050)牛乳瓶「市乳180cc」-  
RD912



029(No.053)牛乳瓶「岩手均質牛乳」  
(岩手牛乳)「市乳180cc」- RD912

TRADE MARK  
180 CC

(03 乳製品瓶)



高さ14.0cm



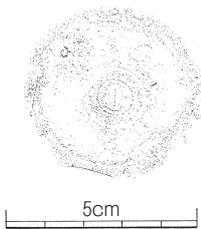
高さ14.0cm



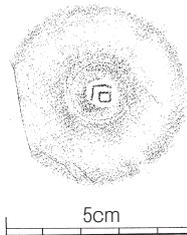
高さ14.0cm

Ⓔ 180cc

Ⓔ 180cc



5cm



5cm



5cm

030(No.054)牛乳瓶  
「均質牛乳ピタD入 岩手牛乳」  
(岩手牛乳)－RD912

031(No.011)牛乳瓶  
「均質牛乳ピタD入 岩手牛乳」  
(岩手牛乳)「まる正180cc」－RD902

032(No.012)牛乳瓶  
「ウルトラ. プロセス 岩手牛乳」  
(岩手牛乳)「まる正180cc」－RD905



高さ14.0cm



高さ13.9cm

Ⓔ 180cc

6 111 Y 19

5cm

033(No.052)牛乳瓶「雪印牛乳」(雪印乳業)  
「まる正180cc」－RD905

034(No.055)牛乳瓶「ウルトラ. プロセス 岩手牛乳」  
(岩手牛乳)「まる正180cc」－RD911

第 17 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶 (7)

〔03 乳製品瓶〕



高さ14.0cm

Ⓜ 180cc

6 11 Y 20

5cm

035 (No.060) 牛乳瓶  
「ウルトラデラックス 岩手牛乳」  
(岩手牛乳)「まる正180cc」- RD911



高さ14.0cm

180 cc 17 Y 5 1

5cm

036 (No.063) 牛乳瓶「いわて 特濃 加工乳」  
(岩手牛乳)- III区



高さ14.0cm

Ⓜ 200 cc  
6 11 Y 20  
5cm

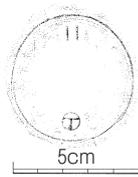
037 (No.065) 牛乳瓶「森永200」(森永乳業)「まる正200cc」- III区

〔04 調味料瓶〕



高さ24.4cm

CHICKEN SAUCE



038(No.071)ソース瓶「CHICKEN SAUCE」－RD905



高さ23.9cm

チキン  ソース

Ⓢ 360cc



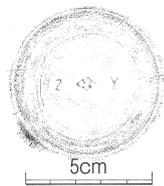
039(No.069)ソース瓶「チキンソース」「まる正360cc」－RD905



高さ24.0cm

チキンソース

Ⓢ 360 ml



040(No.070)ソース瓶「チキンソース」  
「まる正360ml」－RD905



高さ24.0cm

BULL-DOG

Ⓢ 360 ml



041(No.072)ソース瓶「BULL-DOG」  
(ブルドックソース)「まる正360ml」－RD905



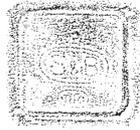
高さ19.6cm

042(No.068)カレー粉瓶－RD902

〔04 調味料瓶〕



高さ6.2cm



5cm

043(No.022) コショウ瓶(エスピー食品)ーRD905



高さ8.2cm



5cm

044(No.176) コショウ瓶(エスピー食品)ーRD905



高さ7.0cm



5cm

045(No.014) うま味調味料瓶「味の素」ーRD901



高さ8.2cm

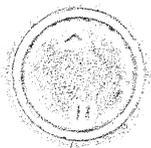


5cm

046(No.016) うま味調味料瓶「味の素」ーRD901



高さ5.9cm

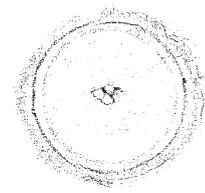


5cm

047(No.018) うま味調味料瓶「味の素」ーRD904



高さ7.5cm



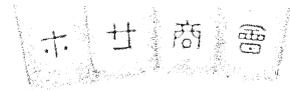
5cm

048(No.021) うま味調味料瓶  
「味の素」ーRD905

〔05 食品瓶〕



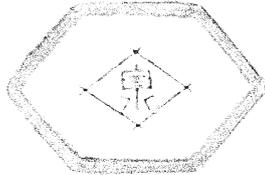
高さ11.5cm



049(No.115) 佃煮瓶「ホサ商会」- RD901



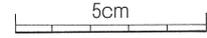
高さ9.4cm



050(No.184) 佃煮瓶 - RD905



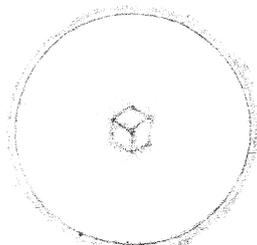
高さ8.7cm



051(No.181) 佃煮瓶 - RD905



高さ13.8cm



052(No.179) ふりかけ瓶 - RD905



高さ23.3cm



053(No.185) 食用油脂瓶「日清 天ぷら油」  
(日清製油) - RD905



054(No.114) 金平糖瓶(鉄砲形) - RD912

055(No.121) 金平糖瓶(香水瓶形) - RD901

056(No.110) 金平糖瓶(水筒形) - RD903

第 21 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶 (11)

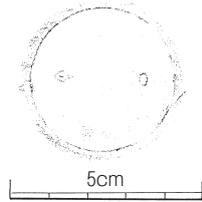
〔06 薬瓶〕

高さ10.8cm



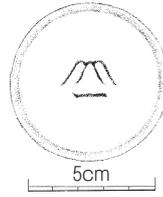
A ベンジン

エステー化学工業株式会社  
100cc



057 (No.186) 薬品瓶「A ベンジン」  
(エステー化学工業) - RD905

高さ19.3cm



058 (No.293) 殺虫剤瓶  
(日本農薬) - RD912

高さ18.7cm



059 (No.287) 殺虫剤瓶(アメリカ製)  
「ブラックリーフ40」 - RD912

高さ12.7cm



高さ10.3cm

060-061 (No.025-026)  
医療用薬瓶「購買利用組合  
盛岡病院」 - RD901-905



医療用薬瓶  
(病院名なし)

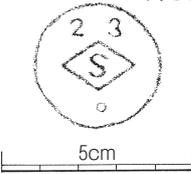


第 22 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代ガラス瓶 (12)

〔06 薬瓶〕



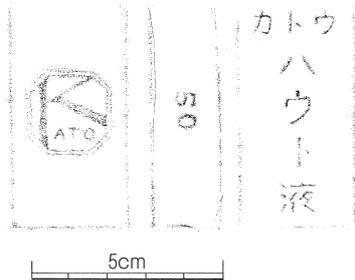
高さ8.5cm



062(No.148)一般用薬瓶「アド  
リナリン」(三共)－RD903



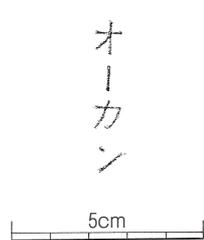
高さ8.3cm



063(No.091)一般用薬瓶「ハウト液」(カトウ製薬)－RD901



高さ7.9cm



064(No.092)一般用薬瓶  
「オーカン」(クミアイ)－RD903

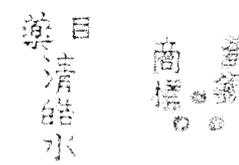


高さ6.0cm



065・066(No.096・027)  
目薬瓶「清皓水」－RD902

高さ6.0cm



長さ8.4cm



067・068(No.028・098)  
目薬瓶「ロート目薬」－  
RD905・902

長さ8.2cm

長さ7.9cm



069(No.029)目薬瓶「ロート目  
薬」－RD905

〔06 薬瓶〕



高さ20.0cm

BLUTOSE



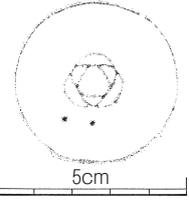
070 (No.090) 栄養保健剤瓶「ブルトローゼ」  
(藤澤薬品工業) - RD902

高さ8.9cm



071 (No.132) 栄養保健剤瓶「ハリバ」  
(田辺元三郎商店) - RD902

高さ4.9cm



072 (No.161) 軟膏瓶(ミツワ石鹸) - RD903

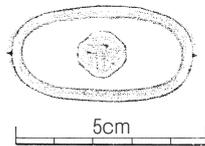
〔07 化粧瓶〕

高さ10.2cm



073 (No.100) 化粧水瓶「ユキワリミン」  
(原沢製薬工業) - RD901

高さ11.3cm



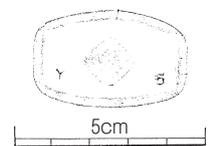
074 (No.118) 化粧水瓶  
(資生堂) - RD906

高さ13.1cm



075 (No.231) 化粧水瓶  
(資生堂) - RD905

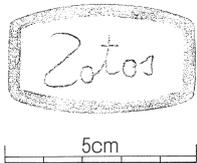
高さ11.7cm



076 (No.102) 化粧水瓶  
(資生堂) - RD905

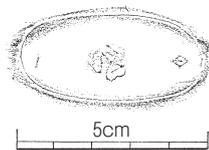
〔07 化粧瓶〕

高さ12.5cm



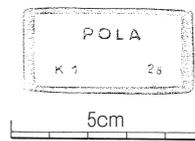
077(No.331)化粧水瓶  
「ゾートス化粧品」  
(資生堂)－Ⅲ区

高さ11.6cm



078(No.101)化粧水瓶  
(ウテナ)－RD905

高さ10.7cm



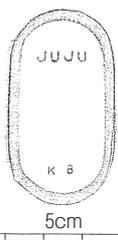
079(No.277)化粧水瓶  
(ポーラ化粧品本舗)－  
RD910

高さ13.8cm



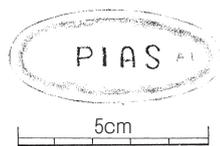
080(No.032)化粧水瓶  
(カネボウ)－RD905

高さ12.1cm



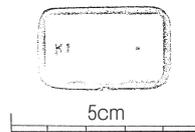
081(No.103)化粧水瓶  
(ジュジュ化粧品)－  
RD905

高さ12.5cm



082(No.104)化粧水瓶  
(ピラス化粧品)－  
RD905

高さ7.9cm



083(No.238)化粧水瓶  
(コーセー)－RD905

高さ11.9cm



084(No.228)化粧水瓶  
「モナ葉緑素アストリンゼント」  
(関西有機化学工業)－RD905

(07 化粧瓶)

高さ13.5cm



085 (No.156) 化粧水瓶  
— RD903

高さ13.4cm



086 (No.233) 化粧水瓶  
— RD905

高さ7.9cm



PAPILIO  
LABORA  
TOIRE  
CHIMI-  
QUE.

5cm

087 (No.302) 化粧水瓶「パピリオ化粧品」  
(伊藤胡蝶園) — RD912

高さ9.8cm

高さ8.5cm

大島椿油所 大島椿製油所  
株式会社 大島椿製油所 謹啓

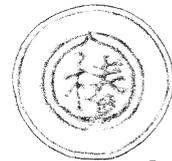


5cm

088 (No.242) 椿油瓶(大島椿製油所) — RD905



大島椿油所 大島椿製油所  
株式会社 大島椿製油所 謹啓



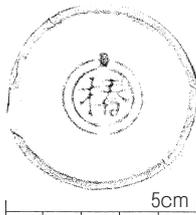
5cm

089 (No.241) 椿油瓶(大島椿製油所) — RD905

高さ9.8cm



大島椿



5cm

090・091 (No.243・244) 椿油瓶(大島椿製油所) — RD905

高さ12.6cm



ビスター

5cm

092 (No.240) 椿油瓶「ビスター椿油」 — RD905

〔07 化粧瓶〕

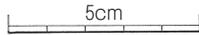
高さ11.8cm

高さ9.9cm



本島椿

本島椿

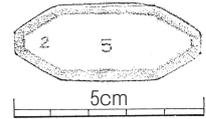


093・094・095 (No.246・245・167) 椿油瓶(本島椿) - RD905・904

高さ10.8cm



*Hamimototo*



096 (No.099) 整髪料瓶(加美乃素本舗) - RD905

高さ7.4cm

高さ9.7cm



*Zuro Bara*  
5cm

099 (No.249) 整髪料瓶(黒ばら本舗) - RD905



*Utatubaki*



100 (No.247) 整髪料瓶(うた椿) - RD905

高さ13.5cm

高さ12.2cm



*NEOPON*  
5cm

098 (No.229) 整髪料瓶「ネオポアン」(黒ばら本舗) - RD905



097 (No.230) 整髪料瓶(ミスダリヤ) - RD905

高さ6.9cm

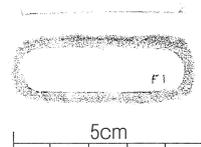


102 (No.151) 整髪料瓶「ゴコー黒椿」(昇英堂) - RD903

高さ7.9cm



*Utatsubaki*



101 (No.248) 整髪料瓶(うた椿) - RD905

〔07 化粧瓶〕

高さ5.5cm



5cm

103(No.308)化粧クリーム瓶「レートクレム」- RD912

高さ4.4cm



5cm

104(No.162)化粧クリーム瓶「レートクレム」- RD903

高さ5.3cm



5cm

105(No.030)化粧クリーム瓶(資生堂)- RD905

高さ5.1cm



5cm

106(No.031)化粧クリーム瓶(花王)- RD903

高さ6.0cm



107(No.214)化粧クリーム瓶「ウテナバニシングクリーム」- RD905

高さ3.9cm



5cm

108(No.109)化粧クリーム瓶「ウテナミルククリーム」- RD905

高さ4.1cm



5cm

109(No.212)化粧クリーム瓶(ジュジュ化粧品)- RD905

高さ3.6cm



5cm

110(No.206)化粧クリーム瓶(ピカソ美化学研究所)- RD905

高さ4.3cm



5cm

111(No.107)化粧クリーム瓶(カネボウ)- RD905

高さ4.9cm



5cm

112(No.168)ポマード瓶(柳屋)- RD904

高さ6.2cm

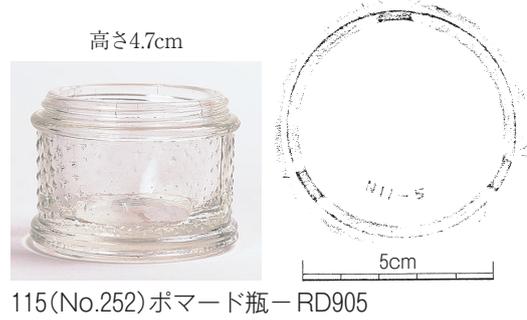


5cm

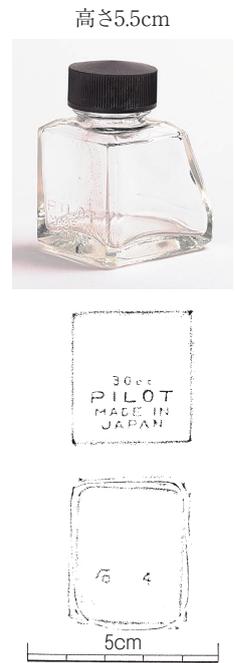
113(No.106)ポマード瓶(柳屋)- RD905



〔07 化粧瓶〕



〔08 文具瓶〕

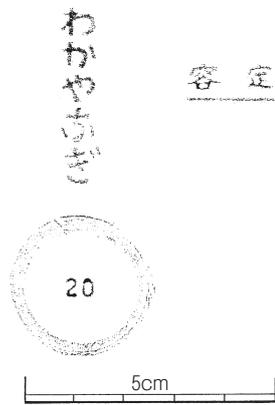


〔09 日常生活瓶〕



〔09 日常生活瓶〕

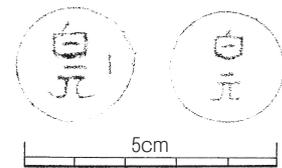
高さ7.2cm



122(No.129)白髪染瓶「わかやなぎ」(女神印)－RD902

高さ4.7cm

高さ4.9cm



123・124(No.202・201)染料瓶  
「白元」－RD905

高さ4.4cm



125(No.111)染料瓶「谷利」－  
RD903

高さ4.7cm



126(No.199)食紅瓶「牡丹印食料紅」  
(紅屋食品色素)－RD905

高さ5.1cm



127・128(No.113・112)食紅瓶  
「紅屋」－RD905



飯茶碗(RD904, No.001)  
吹き絵



飯茶碗(RD910, No.001)  
吹き絵



飯茶碗(RD905, No.001)  
吹き絵



飯茶碗(RD901, No.001)  
吹き絵



飯茶碗(RD902, No.006)  
吹き絵



飯茶碗(RD905, No.002)  
吹き絵



飯茶碗(RD902, No.002)  
吹き絵



飯茶碗(RD902, No.001)  
ゴム印判



飯茶碗(RD901, No.003)  
ゴム印判



飯茶碗(RD904, No.003)  
手描き



飯茶碗(RD904, No.006)  
手描き



飯茶碗(RD906, No.001)  
手描き



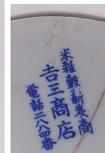
飯茶碗(RD912, No.001)  
手描き



飯茶碗(RD905, No.005)  
手描き



飯茶碗(RD905, No.004)手描き「吉三商店」



飯茶碗(RD903, No.001)  
ゴム印判・上絵



飯茶碗(RD912, No.007)  
ゴム印判・上絵



飯茶碗(RD902, No.008)  
子ども用, 上絵(桃太郎)



飯茶碗(RD904, No.014)  
子ども用, 上絵(蟹頭)



飯茶碗(RD902, No.009)  
子ども用, 上絵(野球少年,  
日章旗, 旭日旗)



飯茶碗(RD902, No.010)子ども  
用, 上絵(「リュウセンガタ」,  
自動車, 日章旗, 旭日旗)



飯茶碗(RD904, No.035)  
子ども用, 上絵(「カッテ  
クルゾト勇」)



飯茶碗蓋(RD903, No.031)  
子ども用, 上絵(「バンザイ」,  
日章旗, 旭日旗)

第 31 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器 (1)



碗(RD912, No.003)緑色釉



碗蓋(RD912, No.014)銅版刷, 手描き,  
「昭浅技製」



鉢(RD912, No.038)銅版刷, 手描き,  
「盛岡市蕎麦屋」



鉢(RD902, No.020)吹き絵



鉢(RD902, No.021)吹き絵



鉢(RD905, No.024)青磁, 上絵



輪花皿(RD912, No.024)  
蛇の目高台, 手描き



皿(RD901, No.019)型紙刷



皿(RD902, No.014)型紙刷



皿(RD902, No.016)銅版刷



皿(RD905, No.019)銅版刷



皿(RD905, No.020)銅版刷



皿(RD902, No.012)ゴム印判



皿(RD904, No.022)ゴム印判



皿(RD904, No.029)ゴム印判



皿(RD903, No.003)ゴム印判



皿(RD904, No.016)ゴム印判「内田米穀店」



第 32 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器 (2)



皿(RD901, No.018)染付  
手描き「かね与」



皿(RD905, No.016)染付  
手描き「寿」, 上絵



皿(RD903, No.006)染付  
手描き, 上絵



皿(RD906, No.005)上絵,  
「九谷」



皿(RD902, No.013)子ど  
も用, 上絵(カブト)



輪花皿(RD912, No.039)  
蛇の目高台, 青磁, 上絵



皿(RD912, No.022)染付  
手描き, 上絵



皿(RD912, No.020)吹き  
絵, 上絵



皿(RD911, No.002)型お  
こし, 染付, 上絵



皿(RD907, No.001)型お  
こし, 青磁, 上絵



皿(RD905, No.025)型おこし, 青磁, 上絵, 「吉三商店」



皿(RD912, No.033)型おこし, 青磁, 上絵



皿(RD904, No.017)型おこし, 染付



湯呑(RD902, No.022)ゴ  
ム印判



湯呑(RD906, No.008)ゴ  
ム印判



湯呑(RD912, No.052)「繁田園」



第 33 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器 (3)



湯呑 (RD912, No.041)  
上絵, 「有田」



湯呑 (RD901, No.031)  
上絵, 「十一屋」



湯呑 (RD905, No.028)  
上絵, 「YAMAHAN」



湯呑 (RD912, No.057)  
上絵, 「九谷」



湯呑 (RD912, No.056) 上絵



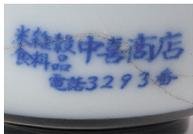
湯呑 (RD912, No.042) 上絵



湯呑 (RD912, No.043) 吹き  
絵, 上絵



湯呑 (RD905, No.029) 青磁



湯呑 (RD910, No.005)  
青磁, 「中喜商店」



湯呑 (RD901, No.033)  
青磁, 茶釉



湯呑 (RD905, No.030) 陶器絵付, 「竹原茶店」



急須蓋 (RD905, No.049)  
陶器, 削り出し文様



急須 (RD905, No.046) 陶器, 削り出し文様, 「陶山」



急須 (RD905, No.047) 陶器, 削り出し文様, 「川山」



急須 (RD912, No.077) 陶器, 削り出し文様, 「萬」



急須蓋 (RD905, No.050)  
陶器, 削り出し文様



猪口(RD905, No.033)吹き絵,  
「月の輪」



猪口(RD905, No.032)「銘酒 観武」  
「近三醸」



猪口(RD905, No.035)「清酒 岩手川」  
「焼酎 岩手川」



猪口(RD904, No.042)「銘酒 岩手川」  
「焼酎 岩手川」



盃(RD905, No.042)上絵,「岩手川」



盃(RD902, No.024)上絵,「昭和7年  
10月 雫石川改修起工式」か



盃(RD904, No.040)上絵,「昭和26年  
8月20日 本宮小中学校校庭拡張工事  
竣工」記念」



盃(RD910, No.007)上絵, 金文字



盃(RD901, No.034)上絵, 金文字  
「西比利亜」(右読み, シベリア)



盃(RD912, No.063)上絵, 日章旗, 旭日旗,  
金文字「聯隊」(右読み)



爛徳利(RD902, No.026)上絵か,  
「第六區農」



通徳利(RD902, No.050)陶器, 機械栓, 「酒銘 竹之葉」「一・五」「細重商店」

第 35 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器 (5)



洋皿(RD905, No.026)型おこし, 上絵銀



洋皿(RD905, No.027)型おこし, 転写



洋皿(RD912, No.035)型おこし, 上絵



ティーソーサー(RD912, No.025)上絵, 「中喜商店」



ティーソーサー(RD912, No.027)上絵



汽車土瓶(RD902, No.048)会津本郷焼, 「お茶」「会津まるヒ造」「金五銭」



ティーカップ(RD905, No.031)上絵



ティーカップ(RD912, No.059)転写



汽車土瓶(RD910, No.008)磁器白色, 「お茶」「動輪マーク」「星Kマーク」



統制陶器飯茶碗(RD904, No.013)吹き絵, 「岐91」



統制陶器碗(RD905, No.012)鉄釉, 「岐124」



統制陶器皿(RD904, No.028)ゴム印判, 「岐1098」



統制陶器湯呑(RD912, No.055)上絵, 「岐620」



統制陶器鍋(RD903, No.044)鉄釉, 「岐955」



統制陶器インク瓶か(RD903, No.051), 「岐710」

第 36 図版 細谷地遺跡第 37 次調査出土近現代陶磁器 (6)

# 報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはくつちようさほうこくしょ 12							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ							
副書名	道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成 29 年度発掘調査 細谷地遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館(刊行：盛岡市・盛岡市教育委員会)							
所在地	〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2020 年 2 月 28 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名(略号)	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
ほそやち 細谷地(OHY)	いわてけんもりおかしむかいなかの 岩手県盛岡市向中野 5・7丁目、あざほそやち 字細谷地	03201	LE26-0214	39°40'42"	141°8'19"	37 次：2017.5.29-8.31 2017.11.22-12.20	4,692	土地区画整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
細谷地 37 次	集落	縄文時代 古代 古代以降  近世 近現代		陥し穴 8 溝 1 土坑 2・溝 6 ピット  廃棄土坑 12		剥片 土師器 土師器・須恵器  陶磁器、寛永通宝 ガラス瓶、陶磁器		
要約	盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦 22 年(803)に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7 世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が 10 世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。本書掲載の細谷地遺跡では、古代の遺構は 1 条の溝跡のみであったが、縄文時代の大規模な帯状の陥し穴群の一部、近世盛岡城下にあったと伝承される御用窯で焼かれた陶器、ガラス瓶をはじめ多くの遺物が出土した近現代「廃棄土坑」群などが確認された。							

## 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ

—道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成 29 年度発掘調査—  
細谷地遺跡

令和 2 年 2 月 28 日

編集 盛岡市遺跡の学び館  
〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1  
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605  
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp  
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

遺跡の学び館

検索

発行 盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 杜陵高速印刷株式会社  
〒 020-0811 岩手県盛岡市川目町 23-2